

第56回  
北海道作業療法学会学術大会  
プログラム

『遺す』：多様性が求められる  
社会の中での作業療法

2026年6月27日(土)・28日(日)  
日本医療大学



公益社団法人  
北海道作業療法士会



## 社会医療法人 札幌山の上病院 がん・リウマチ・神経難病 リハビリテーションセンター

●

高齢化により、がんの手術や化学療法などの高度な治療により  
呼吸・心臓・消化器・腎・骨・免疫など重複障害のために、  
在宅生活への移行が困難な例は少なくありません。

●

その重複障害に焦点をあわせた治療と、  
専門的視座から分析した生活の再構築に向け、  
がん・リウマチ・神経難病リハビリテーションセンターが  
開設されました。



# 評価し、考え、介入する。 ここに、こどもの臨床があります。

作業療法士 募集 | 成人領域経験者も歓迎。こどもの発達支援に専念できる環境です

## 臨床の特徴

### 01 北海道でも数少ない 認知神経リハビリテーションによる発達支援

イタリア研修修了者が在籍。科学的根拠に基づく高度なアプローチを、こどもの臨床に実装しています。

### 02 標準化検査による根拠ある評価と介入

WISC-V・DN-CAS・GMFM 等を活用。評価から個別プログラム立案まで、一貫して担えます。

### 03 多職種連携と開かれたキャリアパス

OT・ST・PT・保育士・児童指導員が連携。入職後にOTが管理者へ登用された実績があります。

法人平均年収

**+100万円以上**

北海道・東北の同職種平均より

1年目 約 378万円

2年目 約 404万円

入職後の年収モデル  
交通費・賞与込

## 募集要項

|      |  |
|------|--|
| 採用職種 | 作業療法士・言語聴覚士・理学療法士（正職員）                 |
| 勤務地  | 緑苑台・樽川・新琴似事業所（配属は応相談）                  |
| 勤務時間 | 9:00～18:00 祝日 9:00～15:00               |
| 休日   | 週休2日（日曜固定+シフト1日）年間112日以上               |
| 給与   | 基本給200,000円～+資格手当・処遇改善手当・精勤手当・住宅手当・交通費 |
| 賞与   | 年2回（6・12月）+決算賞与 社会保険完備                 |
| 研修制度 | OJT・ケース検討会・外部研修・学会参加補助                 |

## お問い合わせ・エントリー

TEL：011-776-7644

MAIL：[info@kodomo.hokkaido.jp](mailto:info@kodomo.hokkaido.jp)

HP：<https://kodomo.hokkaido.jp/>

〒006-0022 札幌市手稲区稲穂2条8丁目8番5号



採用情報はこちら

令和8年5月吉日

施設長  
病院長様

公益社団法人北海道作業療法士会  
会長 清水 兼悦  
第56回 北海道作業療法学会学術大会  
大会長 岸上 博俊

## 学会出張のお願いについて

謹啓 新緑の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素より公益社団法人北海道作業療法士会に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度第56回北海道作業療法学会学術大会を下記のとおり開催する運びとなりました。社会への更なる貢献を目指すべく、作業療法のあり方について様々な角度から検証していきたいと考えております。本学会が実りあるものとなり、各関係者のご期待に応えられるよう努力する所存でございます。

つきましては、貴施設作業療法士の学会出張に際しまして、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

## 記

### 1. 会 期

令和8年6月27日(土) 12:00~18:10  
開 会 式  
基 調 講 演  
一般演題発表  
SIGワークショップ  
28日(日) 9:00~14:30  
教 育 講 演  
一般演題発表  
市民公開講座  
閉 会 式

2. 会 場 日本医療大学  
(札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号)

3. 事務局 日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻内  
(札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号)

4. 参加費 会員：6,000円(事前参加登録のみ)  
一般：10,000円(当日参加登録のみ)

# 第56回 北海道作業療法学会学術大会 プログラム集

## 学会テーマ

### 『遺す』：多様性が求められる社会の中での作業療法

会 期 2026年6月27日(土)～6月28日(日)  
会 場 日本医療大学  
主 催 公益社団法人北海道作業療法士会

## 後 援

北海道医師会  
北海道歯科医師会  
北海道薬剤師会  
全国病院理学療法協会北海道地方会  
日本義肢協会北海道支部  
北海道栄養士会  
北海道看護協会  
北海道建築士会  
北海道歯科衛生士会  
人北海道歯科技工士会  
北海道柔道整復師会  
北海道放射線技師会  
北海道臨床衛生検査技師会  
北海道鍼灸師会  
北海道臨床工学技士会  
日本精神科看護協会北海道支部  
北海道リハビリテーション学会  
北海道医療ソーシャルワーカー協会  
北海道介護支援専門員協会  
北海道社会福祉士会  
北海道鍼灸柔整マッサージ師会  
認知症の人と家族の会 北海道支部  
北海道若年認知症の人と家族の会

北海道知的障がい福祉協会  
北海道精神障害者家族連合会  
北海道肢体不自由児者福祉連合協会  
北海道社会福祉協議会  
北海道総合研究調査会  
北海道身体障害者福祉協会  
北海道精神保健福祉士協会  
北海道手をつなぐ育成会  
北海道老人福祉施設協議会  
北海道老人保健施設協議会  
北海道総合在宅ケア事業団  
北海道ホームヘルプサービス協議会  
北海道心臓協会  
北海道難病連  
北海道理学療法士会  
北海道言語聴覚士会  
日本義肢装具士協会  
北海道精神保健協会  
北海道  
札幌市  
北海道新聞社

(順不同・敬称略)

## 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 実施要綱 .....                     | 1  |
| 会長挨拶 .....                     | 2  |
| 第56回 北海道作業療法学会学術大会 大会長挨拶 ..... | 3  |
| 式次第 .....                      | 4  |
| 会場案内図・会場見取り図 .....             | 5  |
| 演者・座長の皆さまへ .....               | 7  |
| 大会プログラム .....                  | 9  |
| 学会日程表 .....                    | 10 |
| 基調講演 .....                     | 12 |
| 市民公開講座 .....                   | 14 |
| 教育講演 .....                     | 20 |
| 演題プログラム .....                  | 23 |
| SIGワークショップ .....               | 37 |
| 実行委員会 .....                    | 49 |
| 協賛いただいた施設・団体 .....             | 50 |

## 実施要綱

1 主催機関

公益社団法人北海道作業療法士会

2 名 称

第56回 北海道作業療法学会学術大会

3 会 期

2026年6月27日(土) 12:00～6月28日(日) 14:30

4 会 場

日本医療大学（北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号）

5 大会長

岸上 博俊

（日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

6 テ ー マ

『遺す』：多様性が求められる社会の中での作業療法

7 事務局

日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻内

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号

実行委員長 村上 正和

E-mail : haot56th@gmail.com



公益社団法人 北海道作業療法士会  
代表理事 清水 兼悦

### 第56回北海道作業療法学会学術大会の開催に寄せて

このたび、第56回北海道作業療法学会が日本医療大学の岸上博俊教授を大会長に、同じく村上正和准教授を実行委員長として、精鋭スタッフとともに日本医療大学を会場に、『「遺す」：多様性が求められる社会の中での作業療法』をテーマに開催されることに心より喜ぶとともに感謝申し上げます。

世のなかには、文字通り「多様性：ダイバーシティ」の社会であり、「画一的」なことを科学することも必要ですが、「多様性」を追求し科学することは重要なことです。

「画一的」な文化や思考は、「失敗」や「戦争」の原因ともなりうるものです。

「多様性を科学する」ためには、多様な知恵・知識・経験・発見を取り入れ、融合・共有して集合知を形成・蓄積し、「遺す」ことが求められます。

そのような折、今回の大会では、「作業で創るエビデンス」で高名な東京工科大学の友利幸之助教授に、「セラピストのためのChat GPT活用ガイド」で高名な順天堂大学の松田雅弘教授にご講演をいただくことになっております。

顔を合わせている作業療法士間は言うに及ばず、古今東西の作業療法士間、患者家族を含めた異業種間に存在する「多様性を科学する」ためには、AIを活用した多くの情報の中から、エビデンスのあることから、集合知を形成・蓄積し、「遺す」ことが必要です。

多くの作業療法士が一堂に会し、対面での情報交換にて盛会裏に終えることを心より祈念しております。

## 第56回 北海道作業療法学会学術大会 大会長挨拶



第56回北海道作業療法学会学術大会  
大会長 岸上 博俊

### ご 挨 拶

第56回北海道作業療法学会の大会長を務めさせていただき、日本医療大学の岸上博俊と申します。来年2026年の6月27-28日の両日、札幌市豊平区月寒にあります日本医療大学月寒キャンパスにて開催予定となっております。今回は学会の大まかな概要についてお知らせさせていただきます。

今回の学会テーマは『「遺す」：多様性が求められる社会の中での作業療法』として開催させていただきます。近年は多様な価値観、多様なライフスタイルが認められる社会となってきています。これらの多様性は、様々な価値観やルーティーンを治療に取り入れる作業療法にとって好都合であるはずですが、しかし、それらの状況をうまく活かすことが出来なければ社会に必要とされない職種にもなりかねません。そうならないためにも今学会で、さまざまなディスカッションが行われればと考えております。

基調講演は、東京工科大学 作業療法学専攻教授、友利幸之介先生に「作業療法を遺すために」というテーマでの講演を依頼しております。友利先生は、ご著書である「作業で創るエビデンス」のなかで、10年後を今から創ろうというメッセージも残されており、今回の学会テーマに最適な講師であると考えております。また友利先生は、作業療法の定義改訂にも参画されており、どのような経緯で、またどのような狙いで定義改定をすすめていったのかを北海道の作業療法士にもお伝えてしていただきたいと考えております。

教育講演は、順天堂大学、理学療法学科教授、松田雅弘先生に「Chat GPT (AI) を日常業務にどのように取り入れていくか」というテーマでの講演を依頼しております。松田先生は、「セラピストのためのChat GPT活用ガイド」も出版されており、まさにこれからの業務におけるAI技術との付き合い方、リテラシーについてご教授いただけると考えております。

会場である日本医療大学へのアクセスですが、札幌地下鉄東西線「南郷13丁目駅」、もしくは東豊線「月寒中央駅」、「福住駅」のどちらかからの徒歩になります。これらの駅からはおおよそ15分程度を見ていただくと良いと思います。地図をご参照ください。近隣の商業施設BRANCH札幌月寒での休憩も出来ます。

最後になりますが、従来通りの市民公開講座、口述発表、ポスター発表、SIG企画は実施いたします。多くの皆様のご参加を実行委員一同お待ちしておりますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。

## 式次第

### 開会式

6月27日(土) 12:10~12:40

司会 村上 正和

- 1 大会長挨拶  
第56回北海道作業療法学会学術大会長 岸上 博俊
- 2 会長挨拶  
公益社団法人北海道作業療法士会会長 清水 兼悦
- 3 祝 辞

### 閉会式

6月28日(日) 11:30~12:00

司会 村上 正和

- 1 表彰式
- 2 大会長挨拶  
第56回北海道作業療法学会学術大会長 岸上 博俊
- 3 次期大会長挨拶

## 会場案内図・会場見取り図

### 会場案内図

#### 日本医療大学 月寒本キャンパス

〒062-0053 北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号

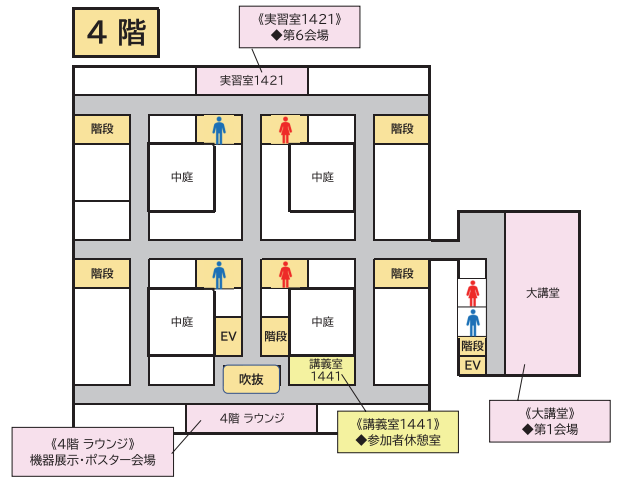
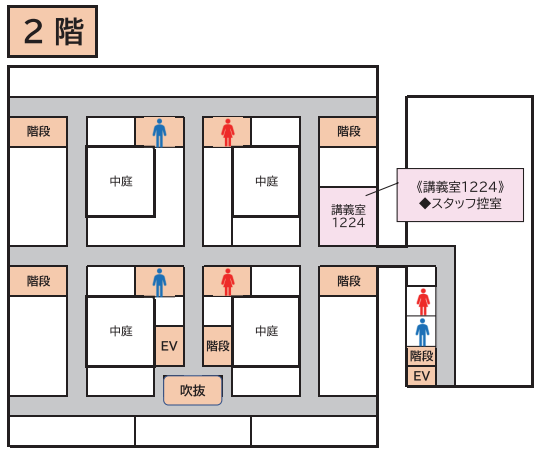
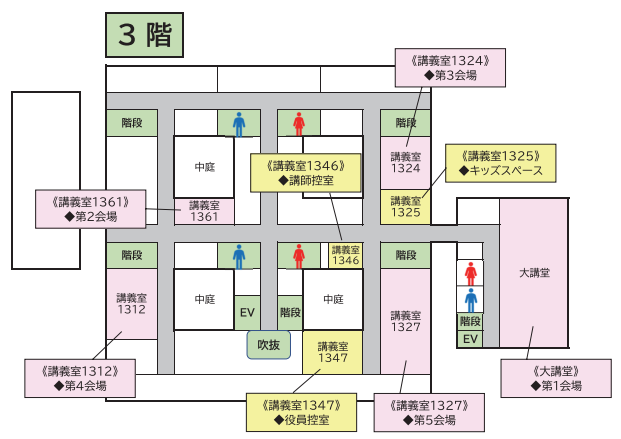
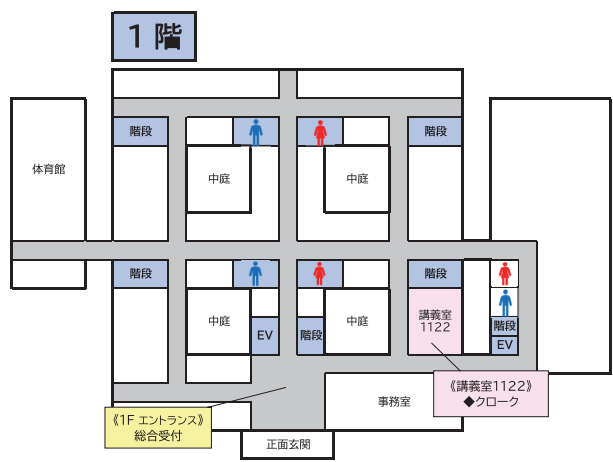


【地下鉄東西線】南郷13丁目駅「2番出口」から徒歩約10分

【地下鉄東豊線】福住駅「2番出口」から徒歩約13分

【地下鉄東豊線】月寒中央駅「3番出口」から徒歩約15分

# キャンパスマップ



## 演者・座長の皆さまへ

### 1. 口述発表の発表要領

- 1) 1 演題につき、発表は7分以内、質疑応答は3分以内とします。進行は、座長の指示に従ってください。
- 2) 演者に変更のある場合は、学会参加受付時にお申し出てください。
- 3) 演者は該当セッションの10分前までに、発表会場内の次のセッション控え席にご着席ください。
- 4) 演者はセッション終了後までセッション会場に待機し、質疑に対応してください。

### 2. スライド作成に関する注意事項

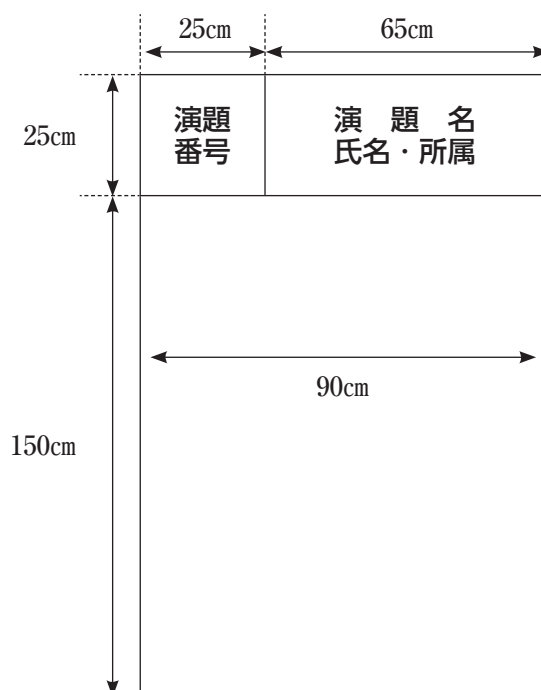
- 1) 口述発表で使用するスライドは、Microsoft PowerPoint (2010～) に限定します。
- 2) 図表使用の際は、鮮明なものをご使用ください。動画・アニメーション機能は使用しないでください。スライドの枚数に制限はありませんが、登録時に時間がかかったり、エラーの原因となりますので、写真や画像の場合は、原画サイズを縮小し、JPEG、GIFなどの形式にて添付し、ファイル容量を3,000KB (3 MB) 以内を厳守してください。
- 3) 学会当日、パソコンの持込や接続、スライド受付、確認、差し替えは行いません。
- 4) スライド (Microsoft PowerPointのファイル) は、2026年6月5日 (金) 23時59分までに必ず送信してください。

### 3. ポスターの作成・発表・展示要領

- 1) 発表者は、発表セッション時間中はポスター前で待機してください。
- 2) 演者に変更がある場合は、学会参加受付にお申し出ください。
- 3) ポスターの展示作業：ポスター発表者は、初日に受付をすませ、その後ポスターを提示してください。展示用パネルに演題番号が表示されていますので、該当する番号のパネルを使用してください。1日目開会式が始まる前に、展示作業を完了してください。
- 4) ポスターの撤去作業：2日目のポスターセッションが全て終了した後に、完全に撤去してください。なお、都合により撤去が困難な場合は、会場のスタッフにお申し出ください。スタッフが撤去を行います。この場合、ポスターの返却は行いませんので、予めご了承ください。

#### 4. ポスター作成に関する注意事項

- 1) 下図のポスター寸法をご参照ください。
  - 演題名、氏名、所属は、縦25cm×横65cm以内に収まるように作成してください。
  - ポスター（本文）は、縦150cm×横90cm以内に収まるように作成してください。



- ・ 演題番号は、予め表示されています。当日は該当する演題番号のパネルをご利用ください。
- ・ [演題名、氏名、所属]  
縦 25cm×横65cm以内です。
- ・ [ポスター（本文）]  
縦150cm×横90cm以内です。
- ・ 図表・写真の枚数は自由です。
- ・ ポスターをA4版に縮小した配布資料、および連絡用名刺の用意を推奨します。配布資料用の袋等は自身でご用意ください。

#### 5. 座長の皆さまへ

- 1) 座長は該当セッション開始30分前までに総合受付内の「座長受付」において、受付を済ませてください。
- 2) 座長は該当セッション10分前までに、会場内の「次座長席」でお待ちください。
- 3) 質疑応答を演題別、あるいはまとめて行うか等、セッションの進行方法については座長の判断でお願いいたします。

#### 6. 表彰について

演題審査委員および各セッションの座長による採点を行います。全演者のうち、優秀演題に選ばれた演者を表彰いたします。演者の皆さまは閉会式への参加をお願いいたします。

## 第56回 北海道作業療法学会学術大会 プログラム

### テーマ

『遺す』：多様性が求められる社会の中での作業療法

### 会期

2026年6月27日(土) 12:00 ~ 6月28日(日) 14:30

### 会場

日本医療大学（北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号）

### 企画内容

#### ◇基調講演

6月27日(土) 15:00~16:00

「作業療法を遺すために」

友利幸之介氏（東京工科大学 医療保健学部 作業療法学専攻 教授）

#### ◇教育講演

6月28日(日) 10:20~11:20

「Chat GPT (AI) を日常業務にどのように取り入れていくか」

松田 雅弘氏（順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授）

#### ◇市民公開講座

6月28日(日) 13:00~14:30

「私のまちの作業療法 豊平区で展開している作業療法のご紹介」

小笠原佳央氏（日本医療大学病院）

鴻上 雄一氏（札幌柏葉会病院）

戸田 真弘氏（介護老人保健施設ノテ日本医療大学リハビリ）

千代谷 匠氏（高台病院）

舟越 隆展氏（KKR札幌医療センター）

# 学会日程表

1日目 6月27日(土)

|       | 第1会場  | 第2会場   | 第3会場  | 第4会場   | 第5会場  | 第6会場                                  | 第7会場   | 展示会場   |
|-------|---|--|---|--|---|---------------------------------------|--|--------|
|       | 大講堂   | 1361講義室  | 1324講義室   | 1312講義室  | 1327講義室   | 1421演習室                               | 4階ラウンジ                                       | 4階ラウンジ |
| 11:00 | 11:00~受付開始<br>(1階エントランス)  |  |   |  |   |                                       | 11:00~13:10                                  |        |
| 11:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 11:20 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 11:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 11:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 11:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 12:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 12:10 | 12:10~12:40<br>開会式  |  |   |  |   |                                       | ポスター貼付                                       |        |
| 12:20 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 12:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 12:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 12:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 13:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 13:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 13:20 | 13:20~14:20<br>一般口述演題①<br>中枢1<br>座長：和田 英峰氏<br>(北海道リハビリテーション大学)    | 13:20~14:10<br>一般口述演題②<br>精神・管理<br>座長：鈴木 光広氏<br>(岩見沢市立総合病院)                                | 13:20~14:20<br>一般口述演題③<br>高齢者1<br>座長：本家 寿洋氏<br>(北海道医療大学)                    | 13:20~14:20<br>一般口述演題④<br>基礎<br>座長：中村 充雄氏<br>(札幌医科大学<br>保健医療学部)        | 13:20~14:20<br>一般口述演題⑤<br>発達・連携<br>座長：小玉 武志氏<br>(北海道済生会<br>みどりの里)     |                                       | 13:20~13:50<br>ポスター演題①<br>地域・教育              |        |
| 13:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 13:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 13:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 14:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 14:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 14:20 |   |  |   |  |   |                                       | 14:00~14:30<br>ポスター演題②<br>発達                 |        |
| 14:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 14:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 14:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 15:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 15:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 15:20 | 15:00~16:00<br>基調講演<br>「作業療法を<br>遺すために」<br>講師：友利幸之介氏<br>座長：岸上 博俊氏 | 14:30~15:30<br>一般口述演題⑥<br>高次脳<br>座長：浅野友佳子氏<br>(医療法人社団青藍会<br>クリニック訪問<br>リハビリテーション<br>らいらっく) | 14:30~15:30<br>一般口述演題⑦<br>身障・他<br>座長：大堀 具視氏<br>(デイサービス<br>Re start)         | 14:30~15:30<br>一般口述演題⑧<br>地域<br>座長：長谷川貴宏氏<br>(医療法人萌佑会 訪問<br>看護ステーション佑) | 14:30~15:30<br>一般口述演題⑨<br>教育・他<br>座長：佐々木 努氏<br>(北海道千歳リハビリ<br>テーション大学) |                                       | (13:20~18:10)<br>ポスター展示<br>1日目と2日目で<br>貼替えなし |        |
| 15:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 15:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 15:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 16:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 16:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 16:20 |   | 16:00~17:00<br>SIG①<br>日本訪問<br>作業療法研究会   | 16:00~17:00<br>SIG②<br>北海道<br>ハンドセラピー<br>研究会                                | 16:00~17:00<br>SIG③<br>北海道<br>視能訓練士会                                   | 16:00~17:00<br>SIG④<br>RIMEリハビリ<br>テーション領域<br>動機づけ面接<br>勉強会           | 16:00~17:00<br>SIG⑤<br>北海道作業遂行<br>研究会 |  |        |
| 16:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 16:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 16:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 17:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 17:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 17:20 |   | 17:10~18:10<br>SIG⑥<br>北海道<br>作業療法士会<br>第2地域部<br>運転と地域移動<br>支援推進課                          | 17:10~18:10<br>SIG⑦<br>北海道災害<br>リハビリテーション<br>推進協議会・北海道<br>作業療法士会<br>災害対策推進課 | 17:10~18:10<br>SIG⑧<br>北海道がん・<br>内部障害<br>作業療法<br>ネットワーク                | 17:10~18:10<br>SIG⑨<br>北海道作業<br>行動研究会                                 | 17:10~18:10<br>SIG⑩<br>北海道活動<br>分析研究会 |  |        |
| 17:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 17:40 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 17:50 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 18:00 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 18:10 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 18:20 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |
| 18:30 |   |  |   |  |   |                                       |  |        |

# 学会日程表

2日目 6月28日(日)

|       | 第1会場  | 第2会場                  | 第3会場                   | 第4会場                                       | 第5会場                     | 第6会場    | 第7会場                        | 展示会場        |
|-------|---|-----------------------|------------------------|--|--------------------------|---------|-----------------------------|-------------|
|       | 大講堂   | 1361講義室               | 1324講義室                | 1312講義室                                    | 1327講義室                  | 1421演習室 | 4階ラウンジ                      | 4階ラウンジ      |
| 08:00 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 08:10 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 08:20 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 08:30 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 08:40 | 08:30~受付開始<br>(1階エントランス)                            |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 08:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 09:00 | 09:00~10:00   | 09:00~10:00           | 09:00~10:00            | 09:00~10:00                                | 09:00~10:00              |         | (09:00~11:20)               | 09:00~11:20 |
| 09:10 | 一般口述演題⑩<br>中樞2                                      | 一般口述演題⑪<br>運動器        | 一般口述演題⑫<br>高齢者2        | SIG⑪<br>北海道<br>作業療法士会<br>教育部<br>MTDLP 推進委員 | SIG⑫<br>札幌高次脳<br>機能障害研究会 |         | ポスター展示<br>1日目と2日目で<br>貼替えなし | 機器展示        |
| 09:20 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 09:30 | 座長：鴻上 雄一氏<br>(札幌柏葉会病院)                              | 座長：清本 憲太氏<br>(日本医療大学) | 座長：朝日まどか氏<br>(北海道医療大学) |  |                          |         |                             |             |
| 09:40 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 09:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 10:00 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 10:10 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 10:20 |   |                       |                        |  |                          |         | 10:10~10:40                 |             |
| 10:30 | 10:20~11:20   |                       |                        |  |                          |         | ポスター演題③<br>精神               |             |
| 10:40 | 教育講演<br>「Chat GPT (AI) を<br>日常業務にどのように<br>取り入れていくか」 |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 10:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 11:00 |   |                       |                        |  |                          |         | 10:50~11:20                 |             |
| 11:10 | 講師：松田 雅弘氏<br>座長：阿部 正之氏                              |                       |                        |  |                          |         | ポスター演題④<br>身障               |             |
| 11:20 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 11:30 | 11:30~12:00   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 11:40 | 優秀演題<br>表彰式・閉会式                                     |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 11:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:00 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:10 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:20 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:30 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:40 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 12:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:00 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:10 | 13:00~14:30   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:20 | 市民公開講座<br>「私のまちの作業療法<br>豊平区で展開して<br>いる作業療法のご紹介」     |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:30 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:40 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 13:50 | 講師：小笠原佳央氏   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:00 | 講師：鴻上 雄一氏   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:10 | 講師：千代谷 匠氏   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:20 | 講師：戸田 真弘氏   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:30 | 講師：舟越 隆展氏<br>座長：伊藤 耕栄氏                              |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:40 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 14:50 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 15:00 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 15:10 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 15:20 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |
| 15:30 |   |                       |                        |  |                          |         |                             |             |

# 基調講演

## 「作業療法を遺すために」

演者

東京工科大学

友利 幸之介 氏

座長 岸上 博俊 氏

6月27日(土) 15:00~16:00

第一会場：大講堂



東京工科大学  
友利幸之介

## 作業療法を遺すために

わが国の作業療法は、1965年の制度化以来、医療の枠組みにおける「治療」の確立と、作業療法本来のアイデンティティとの間で葛藤を抱え続けてきた。このジレンマに対し、海外の作業療法理論は我々の専門性が「作業に根ざした実践（OBP）」にあることを明確に示した。我々の世代はこの歴史を継承し、定義改定や日本臨床作業療法学会の設立、実践ツールの開発等を通してOBPの「市民権獲得」に尽力してきた。今やOBPは臨床で当たり前実践される技術となり、これが次世代へ引き継ぐべき作業療法の「技」である。

一方、磨き上げた「技」が社会的に正当な評価を受けるためには、組織の「仕組み」の構築が不可欠であり、現在、日本作業療法士協会が取り組んでいる「学術・教育・制度対策」の三位一体の改革計画を紹介する。これは単なる組織改編ではなく、臨床家が日々の実践記録をデータベース（DB）に集積し、組織がエビデンスとして集約・解析することで、診療報酬改定等の交渉に活用可能な武器とするサイクルの構築である。全会員がデータを通じて政策決定に参画し、職能の未来を自ら作り上げているという強い当事者意識を共有できる仕組みを目指している。

ただし、本大会のテーマ「遺す」とは、完成品を与えることではなく、後進がより自由に誇りを持って専門性を発揮できる「視座」を共有することである。近年のAIの急速な発展は、作業参加を可能にする「希望」である一方で、新たな作業的不公正を生む「火種」にもなりうる。しかし人間・環境・作業（PEO）モデルで捉えれば、環境が激変し作業のあり方が再定義されるこの時代こそ、人間との間に生じる不調和を調整する我々の出番に他ならない。

不確実な未来においても、我々が磨いてきた個々の「技」を、組織として社会に証明し得る「仕組み」へと昇華させ、その上で、激動する社会を広く見渡し、困難が生じている現場へと駆けつけるための高い「視座」を次世代へ遺していきたい。本講演が、作業療法の価値を皆が共創していくための小さな足がかりとなれば幸いである。

---

## 友利幸之介 (ともり こうのすけ)

東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授  
一般社団法人 日本作業療法士協会 理事

### ●略歴

- ・2000年：沖縄リハビリテーション福祉学院作業療学科 卒業
- ・2000年：特別医療法人春回会長崎北病院 勤務
- ・2004年：神奈川県立保健福祉大学 助手（のちに講師、准教授を歴任）
- ・2010年：鹿屋体育大学大学院 体育学研究科 博士後期課程 修了。博士（体育学）取得
- ・2017年：東京工科大学 准教授を経て、2021年より現職

### ●研究・社会活動

- ・ICTを活用した意思決定支援：2010年、作業療法における共同目標設定を支援するiPadアプリケーション「ADOC」を開発。その後、「ADOC for school」や「ADOC for hand」, 「ADOC2」を展開し、国内外での普及に尽力
- ・職能団体活動：日本作業療法士協会において、作業療法の定義改定委員や学術部副委員長などを務める。2025年より理事に就任し、学術・教育・制度対策の改革を推進している。

### ●主な業績・著書

- ・Utilization of the iPad application: Aid for Decision-making in Occupation Choice. Occupational Therapy International, 19 (2) , 88-97, 2012.
- ・Clinical Utility, Validity and Reliability of the iPad Application for Goal-setting: The Aid for Decision-making in Occupation Choice-2 (ADOC2) . Clinical Rehabilitation. 2025.
- ・『作業で語る事例報告 第2版』（医学書院、2022年）
- ・『作業で創るエビデンス』（医学書院、2019年）

# 市民公開講座

## 「私のまちの作業療法 豊平区で 展開している作業療法のご紹介」

### 講師

小笠原 佳 央 氏  
鴻 上 雄 一 氏  
千代谷 匠 氏  
戸 田 真 弘 氏  
舟 越 隆 展 氏

座長 伊藤 耕栄 氏

6月28日(日) 13:00~14:30

第1会場：大講堂



小笠原佳央（おがさわら よしてる）

●略歴

2000年3月

一般財団法人 岩手済生医会 岩手リハビリテーション学院を卒業

2000年4月～2005年3月

医療法人愛全会 入社 介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま 勤務

2005年4月～2010年3月

石巻赤十字病院 勤務

2010年4月～2021年6月

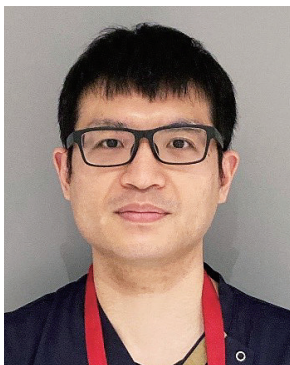
社会医療法人 柏葉脳神経外科病院 勤務

2021年7月～現在

社会福祉法人 ノテ福祉会 日本医療大学病院 勤務

作業療法士免許を取得後、様々な領域やフェーズでのリハビリテーション業務を経験しております。介護老人保健施設においては、介護保険制度が施行された時期の発展途上であった地域高齢者へのリハビリテーションに従事いたしました。その後、東北地方に一度帰郷する形で勤めました石巻赤十字病院では、脳血管疾患や整形外科疾患、心疾患に対する急性期リハビリテーションを経験し、リスクを管理しながらの早期リハビリテーションに携わってまいりました。改めて、北海道に移住し勤めました柏葉脳神経外科病院では、回復期病棟でのリハビリテーション業務を11年担当し、副主任、主任等の中間管理職の役割も経験させていただきました。また、この間に、医療施設から自宅や在宅施設等に退院する患者さんを後方支援をスムーズとするために、介護支援専門の資格（2017年）を取得しております。

現在、勤務しておりますノテ福祉会では、病院勤務を中心にグループ施設での通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの開設準備にも携わっております。日本医療大学病院ではリハビリテーション室の室長として管理職の役割を担いながら、地域包括ケア病棟に求められるリハビリテーションサービス提供に向けた、チームビルディングに取り組んでおります



鴻上 雄一（こうがみ ゆういち）

●略歴

2006年3月 北海道大学医療技術短期大学部作業療法学科 卒業  
2008年3月 北海道大学医学部保健学科作業療法学専攻 卒業  
2008年4月 特定医療法人 柏葉脳神経外科病院 入職 現在に至る  
（現 社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院）

●所属

社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション部 リハビリテーション科

●主な資格

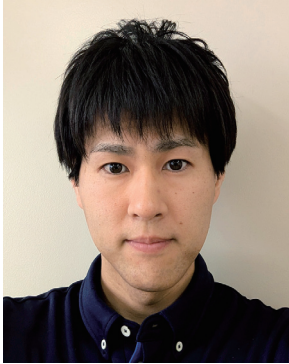
認定作業療法士  
回復期セラピストマネジャー

●業績

急性期・回復期・訪問リハを経験し、現在は回復期リハビリテーション病棟で主任として療法士のマネジメントに従事しています。また、北海道リハビリテーション専門職協会に所属し、一般介護予防事業にも携わっています。

●著書

安全対策カンファレンスにCBAの考えを取り入れて～成功体験から、前向きな安全対策へ～：リハビリナース17(6) 572-574, 2024



---

千代谷 匠 (ちよや たくみ)

●略歴

- 2011年 医療法人社団積信会長野病院入職、精神科作業療法・精神科訪問看護に従事
- 2020年 医療法人菊郷会高台病院入職、精神科作業療法に従事



---

戸田 真弘 (とだ まさひろ)

●略歴

- ・平成20年吉田学園専門学校北海道リハビリテーション大学卒業し、岩見沢明日佳病院に4年間勤務。その後平成24年から夕張の市立診療所にて、訪問リハビリと介護老人保健施設の主任として勤務し、平成30年からノテ福祉会に所属し、令和3年に、当施設、介護老人保健施設ノテ日本医療大学リハビリの開設に従事し、現在に至る。



---

舟越 隆展 (ふなこし たかのぶ)

●略歴

2006年からKKR札幌医療センターに勤務  
現在に至る



伊藤 耕栄 (いとう こうえい)

●略歴

- 2001年 3月 秋田大学医療技術短期大学部作業療法学科 卒業  
2001年 4月 医療法人孝仁会 星が浦病院  
(現 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会リハビリテーション病院) 入職  
法人内異動にて脳卒中・循環器疾患の臨床を中心に従事  
法人内職歴として急性期・生活期の部門・施設管理を経験  
2026年 4月 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長  
兼 社会医療法人孝仁会 医療事業部 リハビリテーション統括部門 部長

現在に至る

●所属学会

- ・日本心臓リハビリテーション学会
- ・日本高次脳機能学会
- ・日本作業療法士協会 (代議員)
- ・北海道作業療法士会 (理事)

●書籍

- ・回復期リハビリテーション介入クイックリファレンス (分担執筆: 整容), Gakken  
以上

# 教育講演

## 「Chat GPT (AI) を日常業務に どのように取り入れていくか」

演者

順天堂大学

松 田 雅 弘 氏

座長 阿部 正之 氏

6月28日(日) 10:20~11:20

第1会場：大講堂



順天堂大学  
松田 雅弘

## 「Chat GPT (AI) を日常業務にどのように取り入れていくか」

近年、ChatGPTをはじめとする生成AIは急速に普及し、日常生活やビジネス、教育などさまざまな領域で活用が進んでいる。しかし、日本では医療分野に限らず産業全体において生成AIの活用が諸外国に比べて遅れていると指摘されている。特に医療分野では、情報の正確性や倫理性が重視されるため、「AIを使ってよいのか」という慎重な意見や拒否感が存在するのも事実である。一方で、現代社会は高度な情報化社会（Society4.0）となり、膨大な情報のなかから必要な知識を収集し整理する能力、すなわち情報リテラシーが専門職にとって重要な資質となっている。リハビリテーション専門職の日常業務を振り返ると、診療記録の作成、報告書や資料の作成、エビデンスの検索、学会発表の準備など、多くの時間が「情報を集め、整理し、文章化する作業」に費やされている。従来は限られた情報のなかで業務を行えばよかったが、現在は膨大なデータを扱いながら正確性も求められるため、これらの作業は臨床家にとって大きな精神的負担となっている。しかし、私たちが支援する対象はあくまで「人」であり、最終的な判断や意思決定は人間の専門的判断に基づくべきである。その前提に立った上で、情報整理や文書作成などの過程において生成AIを補助的に活用することで、業務効率を高めることはできないだろうか。生成AIは、文献情報の整理、文章の要約、資料構成の提案などを短時間で行うことができるため、専門職の思考を支援するツールとして有用である。

本講演では、ChatGPTなどの生成AIを臨床・教育・研究の日常業務の中でどのように活用できるかについて、実際の活用例を紹介しながら考えていきたい。生成AIの活用によって生まれた時間は、患者との対話やチーム医療の連携、専門職としての学習など、人と向き合う本来の仕事に充てることができる可能性がある。生成AIは専門職を代替するものではなく、人の思考を支援し、可能性を広げるためのパートナーである。本講演を通して、AIを恐れるのではなく、倫理性と安全性を踏まえながら日常業務に適切に取り入れる方法について考える機会としたい。

---

## 松田 雅弘 (まつだ ただみつ)

昭和53 (1978) 年 3 月 13 日 48 歳

平成16年 東京都立保健科学大学 卒業

平成18年 東京都立保健科学大学院 博士前期課程修了 修士 (理学療法学)

平成21年 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 修了  
博士 (理学療法学)

### ●職歴

上智厚生病院

横浜療育医療センター

訪問看護ステーション きょうわ

豊島区発達相談支援センター とむとむ

特別養護老人ホーム 博水の郷

東京都立大泉特別支援学校・水元小合特別支援学校・石神井特別支援学校

越谷の保育園巡回指導

了徳寺大学 健康科学部 理学療法学科 助手→助教

植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科 講師→准教授

城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 准教授

順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 前任准教授

順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授

一般社団法人 日本支援工学理学療法学会 理事長

一般社団法人 日本神経理学療法学会 理事 (2024年6月まで)

一般社団法人 日本理学療法学会連合 理事 総務担当理事

日本ニューロリハビリテーション学会 評議員

デジタル理学療法学会 理事長

OTジャーナル 編集同人

### ●その他の項目

専門理学療法士 (基礎・神経・支援工学・小児・地域・予防)

### ●著書など

- ・松田雅弘・他 (編集) : セラピストのためのChat GPT活用ガイド 業務効率を最大化する賢いAIの使い方. 三輪書店. 2024
- ・松田雅弘・他 (編集) : 人間発達学. 中山書店. 2026
- ・松田雅弘・他 (編集) : リハに役立つ検査値の読み方・とらえ方. 羊土社. 2018
- ・松田雅弘・他 (編集) : 脳卒中の装具のミカタ. 医学書院. 2021



---

阿部 正之 (あべ まさゆき)

●現職

社会医療法人北斗 法人本部 リハビリテーション部 部長  
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター  
先進リハビリテーション推進室 室長

●出身校

1990年3月 財団法人 岩手済生医会 岩手リハビリテーション学院 作業療法学科卒

# 演題プログラム

## 口 述 発 表

### 口述① 中枢 I

2026年6月27日(土) 13:20~14:20 第1会場 大講堂  
座長：北海道リハビリテーション大学校 和田 英峰 氏

- O-01-01 **【ビギナーズ演題】**  
**フィードバックの工夫により、できること・できないことへの気づきと生活の展望へつなげた1例**  
赤樫 奎亮<sup>1)</sup>，得能 裕史<sup>2)</sup>，佐藤 淳<sup>1)</sup>，大本 慎也<sup>1)</sup>，窪谷 和泰<sup>1)</sup>，  
角田 大騎<sup>1)</sup>  
1) 札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科  
2) イムス札幌リハビリテーション病院
- O-01-02 **【ビギナーズ演題】**  
**片麻痺を呈した80代女性と作業遂行の視点で更衣動作訓練を実施した症例**  
山下 颯斗<sup>1)</sup>  
1) イムス札幌リハビリテーション病院
- O-01-03 **【ビギナーズ演題】**  
**入院初期から職場復帰を見据えたリハビリテーション治療を行った脳卒中右片麻痺の一例**  
阿部 楓我<sup>1)</sup>，大岩 美知子<sup>1)</sup>，築瀬 太樹<sup>1)</sup>，松浦 加苗<sup>1)</sup>，櫻井 雄太<sup>1)</sup>，  
吉岡 和泉<sup>1)</sup>  
1) 医療法人聖愛会 発寒リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- O-01-04 **段階的目標設定により食事場面での麻痺側上肢使用が拡大した脳卒中症例**  
穴田 黎<sup>1)</sup>，片桐 一敏<sup>1)</sup>  
1) 医療法人喬成会 花川病院
- O-01-05 **非言語性評価と翻訳支援技術を併用した外国人脳卒中患者の  
運転再開支援の一例**  
松本 幸樹<sup>1)</sup>  
1) 旭川赤十字病院 リハビリテーション科
- O-01-06 **多発性脳梗塞による高次脳機能障害にセルフアウェアネスに着目した  
急性期の包括的介入が奏功し社会復帰に至った1例**  
宮沢 亜季<sup>1)</sup>，澤木 優治<sup>1,2)</sup>，伊藤 耕栄<sup>1)</sup>，斉藤 修<sup>3)</sup>  
1) 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 リハビリテーション部  
2) 愛知学院大学 心身科学研究所  
3) 社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科

## 口述② 精神

2026年6月27日(土) 13:20~14:10 第2会場 1361講義室  
座長：岩見沢市立総合病院 鈴木 光広氏

- 0-02-01 **うつ病患者のworking memoryにおける経頭蓋直流電気刺激の効果  
－システムティックレビューとメタアナリシスによる検討－**  
古舘 梨未<sup>1)</sup>，稲垣 侑士<sup>2)</sup>，佐藤 穂佳<sup>1)</sup>，内藤 夢音<sup>3)</sup>，越野 裕太<sup>2)</sup>，  
岡田 宏基<sup>2)</sup>，澤村 大輔<sup>2,4)</sup>  
1) 北海道大学大学院 保健科学院  
2) 北海道大学大学院 保健科学研究所  
3) 神戸大学大学院 保健学研究科  
4) 北海道大学 脳科学研究教育センター
- 0-02-02 **精神科デイケアと精神科訪問看護を併用した集中的な支援によって  
地域生活を継続できた事例**  
吉村 雅人<sup>1)</sup>，板垣 徹<sup>1)</sup>，三輪 真知子<sup>1)</sup>，小野澤 淳<sup>2)</sup>  
1) 医療法人盟侑会 島松病院 社会復帰療法科  
2) 医療法人盟侑会 島松病院 医局
- 0-02-03 **精神科病院におけるフレイル対策に関する視点の導入  
－スタッフの意識変容を目指した実践報告－**  
島田 清貴<sup>1,2)</sup>，横山 和樹<sup>3)</sup>，北川 貴也<sup>1)</sup>  
1) 医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院  
2) 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科  
3) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科
- 0-02-04 **医療観察法病棟医療従事者に対する動機づけ面接トレーニングの効果**  
國田 幸治<sup>1)</sup>，曳田 憲昭<sup>1)</sup>，小竹 玲子<sup>2)</sup>，阿部 來夢<sup>3)</sup>  
1) 北海道大学病院附属司法精神医療センター  
2) 医療法人ライブフォレスト 北大通こころのクリニック  
3) IMS (イムス) グループ イムス札幌リハビリテーション病院
- 0-02-05 **法人内のリハ職に対する、関係職種への積極的な情報発信の促進に向けた  
取り組み－「情報発信の自己評価ツール」－**  
福島 雅弘<sup>1)</sup>，山本 祐司<sup>2)</sup>，平村 敬寛<sup>2)</sup>，佐竹 輔<sup>2)</sup>，魚住 仁美<sup>2)</sup>  
1) 社会福祉法人溪仁会 介護老人保健施設コミュニティホーム美唄 リハビリテーション部  
2) 社会福祉法人溪仁会 介護老人保健施設コミュニティホーム白石 リハビリテーション部

## 口述③ 高齢者 I

2026年6月27日(土) 13:20~14:20 第3会場 1324講義室  
座長：北海道医療大学 本家 寿洋氏

- 0-03-01 **【ビギナーズ演題】  
想いの表出に難渋したが自己効力感の向上により将来の生活を主体的に  
考えられるようになった一事例**  
中居 茉由香<sup>1)</sup>，佐藤 美加<sup>1)</sup>，有泉 涼太<sup>1)</sup>，山口 恵美<sup>1)</sup>，南部 浩志<sup>1)</sup>  
1) 医療法人溪仁会 定山溪病院 リハビリテーション部 作業療法科

- 0-03-02 **【ビギナーズ演題】**  
**役割を提供することで退院後の生活の想起に繋がった事例**  
 小松 柚楽<sup>1)</sup>, 原田 健吾<sup>1)</sup>, 阿部 来夢<sup>1)</sup>  
 1) IMSグループ 医療法人社団 明生会 イムス札幌リハビリテーション病院 リハビリテーション科
- 0-03-03 **動機づけ面接と実動作訓練により独居を再開した高次脳機能障害を有する80代女性の一例**  
 阿部 来夢<sup>1)</sup>, 國田 幸治<sup>2)</sup>  
 1) IMS (イムス) グループ イムス札幌リハビリテーション病院  
 2) 北海道大学病院附属司法精神医療センター
- 0-03-04 **成功体験と価値を満たす環境調整が趣味活動と病前ADLの獲得に繋がった一症例**  
 中村 美慧<sup>1)</sup>, 荒城 李奈<sup>1)</sup>, 渡邊 可奈子<sup>1)</sup>, 杉本 隆<sup>1)</sup>  
 1) 医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院
- 0-03-05 **興味のある作業により認知機能向上・トイレでの排泄を認め家族からリハ満足が得られた一症例**  
 河野 純輝<sup>1)</sup>, 宮本 大地<sup>2)</sup>, 岸本 七虹<sup>3)</sup>  
 1) 士別市立病院 作業療法科  
 2) 士別市立病院 理学療法科  
 3) 士別市立病院 言語聴覚療法科
- 0-03-06 **作業療法士意思決定支援が高齢者の在宅復帰に寄与した一症例**  
 遠藤 僚人<sup>1)</sup>  
 1) 介護老人保健施設ノテ日本医療大学リハビリ

## 口述④ 基礎

2026年6月27日(土) 13:20~14:20 第4会場 1312講義室  
 座長：札幌医科大学 保健医療学部 中村 充雄氏

- 0-04-01 **【ビギナーズ演題】**  
**リハビリテーション学生におけるリーダーシップ行動尺度と東大式エゴグラムとの関連**  
 加藤 萌衣<sup>1)</sup>, 芦田 佑斗<sup>1)</sup>, 田中 翔<sup>1)</sup>, 佐藤 淳<sup>1)</sup>, 大本 慎也<sup>1)</sup>,  
 角田 大騎<sup>1)</sup>, 窪谷 和泰<sup>1)</sup>  
 1) 札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科
- 0-04-02 **包丁操作の熟練度の違いが上肢筋活動に与える影響**  
 大坂 隆介<sup>1)</sup>, 金子 翔拓<sup>1)</sup>  
 1) 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

0-04-03 **マインドフルな音楽鑑賞はストレスを軽減させるか？  
－a single case study－**

本間 悠暉<sup>1,2)</sup>，金子 翔拓<sup>3)</sup>

- 1) 医療法人 北仁会 旭山病院
- 2) 北海道文教大学大学院 リハビリテーション科学研究科
- 3) 北海道文教大学 医療保健科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻

0-04-04 **姿勢推定技術を用いた洗顔・洗髪動作のマーカースレス動作解析  
：年代別運動特性の比較**

中塚 美玖<sup>1,2)</sup>，稲垣 侑士<sup>3)</sup>，石田 知也<sup>3)</sup>，杉森 博行<sup>3)</sup>，渡邊 陽裕<sup>1)</sup>，  
内藤 夢音<sup>4)</sup>，齋藤 隆司<sup>5)</sup>，杉 正明<sup>1,2)</sup>，荻原 憂治<sup>1,6)</sup>，吉村 高明<sup>3)</sup>，  
澤村 大輔<sup>3,7)</sup>

- 1) 北海道大学大学院保健科学院
- 2) カレス記念病院 リハビリテーション部
- 3) 北海道大学大学院保健科学研究所
- 4) 神戸大学大学院保健学研究科
- 5) 北海道医療大学 リハビリテーション科学部
- 6) 東苗穂病院 リハビリテーション部
- 7) 北海道大学脳科学研究教育センター

0-04-05 **【ビギナーズ演題】  
脳卒中患者の半側空間無視に対するバーチャルリアリティトレーニングの  
効果－システムティックレビューとメタアナリシスによる検討－**

本田 友莉佳<sup>1)</sup>，内藤 夢音<sup>2,3)</sup>，稲垣 侑士<sup>4)</sup>，澤村 大輔<sup>4,5)</sup>

- 1) 北海道大学大学院保健科学院
- 2) 北海道大学病院
- 3) 神戸大学大学院保健学研究科
- 4) 北海道大学大学院保健科学研究所
- 5) 北海道大学脳科学研究教育センター

0-04-06 **日本人幼児におけるLinburg－Comstock anomalyの存在率  
：理学的検査による調査**

白戸 力弥<sup>1)</sup>，太田 里奈<sup>2)</sup>，細野 愛美<sup>3)</sup>，宮崎 康平<sup>4)</sup>

- 1) 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科
- 2) 札幌孝仁会記念病院 リハビリテーション部
- 3) 島松病院 社会復帰療法科
- 4) 北海道せき損センター 中央リハビリテーション部

口述⑤ 発達・連携

2026年6月27日(土) 13:20～14:20 第5会場 1327講義室  
座長：北海道済生会 みどりの里 小玉 武志氏

0-05-01 **不登校支援における作業療法連携と家庭・学校・福祉の連携を促す  
計画相談の実践**

高橋 勇葵<sup>1)</sup>，高橋 真菜<sup>1)</sup>，岩岡 拓人<sup>2)</sup>

- 1) 相談支援事業所じょーく
- 2) 訪問看護ステーションいろはす

- 0-05-02 **刺激等価性と固有感覚系のフィードバックを用いた支援が平仮名の想起・獲得に有効であった書字障害傾向がある児の一例**  
宮田 双葉<sup>1,2)</sup>, 萩野 明日香<sup>1)</sup>, 中島 そのみ<sup>3)</sup>, 仙石 泰仁<sup>3)</sup>  
1) 多機能型事業所ひまわり コパンの杜手稲前田  
2) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科  
3) 札幌医科大学保健医療学部
- 0-05-03 **デジタルツールを用いた支援が重症心身障害児の遊びに与える影響  
－「動かすと変わる」経験を活用した一症例－**  
伊藤 竜哉<sup>1)</sup>, 小玉 武志<sup>1)</sup>, 中村 裕二<sup>2)</sup>  
1) 北海道済生会 みどりの里  
2) 北海道公益法人 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科
- 0-05-04 **4コマ漫画のストーリー構成および作画困難に対し生成AIを使って支援した  
Duchenne型筋ジストロフィー患者の一例**  
根本 和奏<sup>1)</sup>  
1) 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター 神経筋/成育センター リハビリテーション科
- 0-05-05 **リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算における専従作業療法士の  
実践経験（第2報）**  
長南 雄也<sup>1)</sup>  
1) 医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院
- 0-05-06 **リハビリテーション・栄養・口腔連携体制構築に向けた取り組み**  
木村 明博<sup>1)</sup>  
1) 医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院

## 口述⑥ 高次脳

2026年6月27日(土) 14:30~15:30 第2会場 1361講義室  
座長：医療法人社団青藍会 クリニック訪問リハビリテーションらいらっく 浅野 友佳子 氏

- 0-06-01 **【ビギナーズ演題】  
机上課題遂行時におけるスマートフォンの有無による集中の途切れと  
課題回答数の比較**  
宮川 ゆめ<sup>1)</sup>, 岩井 優希<sup>1)</sup>, 岡田 空良<sup>1)</sup>, 宮口 智美<sup>1)</sup>, 大本 慎也<sup>1)</sup>,  
角田 大騎<sup>1)</sup>, 窪谷 和泰<sup>1)</sup>  
1) 札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科
- 0-06-02 **【ビギナーズ演題】  
外傷性脳損傷後注意障害における障害構造の分析**  
佐藤 穂佳<sup>1,3)</sup>, 吉田 一生<sup>2)</sup>, 小川 圭太<sup>3)</sup>, 廣野 岳慈<sup>3)</sup>, 本谷 卓朗<sup>3)</sup>,  
澤村 大輔<sup>2,4)</sup>  
1) 北海道大学大学院 保健科学院  
2) 北海道大学大学院 保健科学研究院  
3) 北海道大学病院  
4) 脳科学研究教育センター

- 0-06-03 **【ビギナーズ演題】**  
**急性期半側空間無視患者に看護師との連携と視覚搜索訓練にて食事動作で変化が得られた症例**  
 村上 美紗季<sup>1)</sup>, 宮本 英嗣<sup>1)</sup>, 恩田 大輔<sup>1)</sup>, 阿部 正之<sup>2)</sup>  
 1) 社会医療法人北斗 北斗病院  
 2) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター
- 0-06-04 **脳卒中患者に対して急性期よりReo-GoJを行った結果から注意障害の影響を検討する**  
 広田 大樹<sup>1)</sup>, 岩村 和保<sup>1)</sup>, 杉内 弥羽<sup>1)</sup>, 鎌田 康広<sup>1)</sup>, 前田 理名<sup>2)</sup>, 中村 博彦<sup>3)</sup>  
 1) 中村記念病院 作業療法科  
 2) 中村記念病院 リハビリテーション部  
 3) 中村記念病院 脳神経外科
- 0-06-05 **MRとアイトラッキングが左側の注意拡大や安全な歩行獲得に寄与した一症例**  
 森下 諒<sup>1)</sup>, 川幡 神楽<sup>1)</sup>, 藤田 純史<sup>1)</sup>, 杉本 隆<sup>1)</sup>, 鈴木 謙啓<sup>1)</sup>  
 1) 医療法人豊友会 千歳豊友会病院
- 0-06-06 **病識理解の変化と行動症状の安定が得られた一症例  
 -タブレットを用いた高次脳機能トレーニングの実践-**  
 曾我部 和則<sup>1,2)</sup>, 藤原 実那<sup>1,3)</sup>  
 1) 医療法人 喬成会 花川病院  
 2) リハビリテーション部 作業療法士  
 3) リハビリテーション部 言語聴覚士

## 口述⑦ 身障・他

2026年6月27日(土) 14:30~15:30 第3会場 1324講義室  
 座長：デイサービス Re start 大堀 具視氏

- 0-07-01 **【ビギナーズ演題】**  
**心不全再入院患者に対して認知機能面からアプローチした経験**  
 野口 百恵<sup>1)</sup>, 三家 早織<sup>1)</sup>  
 1) 手稲溪仁会病院 作業療法科
- 0-07-02 **鎌倉方式に基づく箸操作訓練により箸操作を再獲得した  
 シャルコー・マリー・トゥース病の一症例**  
 田中 雄大<sup>1)</sup>, 山中 佑香<sup>1)</sup>, 杉下 智香<sup>1)</sup>, 五嶋 渉<sup>1)</sup>  
 1) 北海道済生会小樽病院 リハビリテーション室作業療法課/手・肘センター
- 0-07-03 **感覚依存性および歩行能力の変化からみた脊髄小脳変性症患者1例に対する  
 訪問作業療法の効果**  
 佐藤 飛友悟<sup>1)</sup>, 岩永 輝明<sup>1)</sup>, 金谷 匡紘<sup>2)</sup>  
 1) 一視同仁会 札幌・すがた医院  
 2) 北海道文教大学医療保健科学部リハビリテーション学科

- 0-07-04 **パーキンソン病患者における視覚運動適応能力の特性**  
 奥田 歩<sup>1)</sup>, 中島 そのみ<sup>2)</sup>, 大柳 俊夫<sup>3)</sup>, 仙石 泰仁<sup>2)</sup>  
 1) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科  
 2) 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科  
 3) 札幌医科大学医療人育成センター教養教育研究部門
- 0-07-05 **重度熱傷に対する回復期での集中的な介入により上肢機能の改善が得られた症例**  
 梅内 翔大<sup>1)</sup>, 森田 和幸<sup>1)</sup>, 阿部 正之<sup>1)</sup>, 白坂 智英<sup>1)</sup>  
 1) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部
- 0-07-06 **重度拘縮を呈した両側上肢熱傷後症例に対する装具療法により復職に至った一例**  
 井部 光滋<sup>1)</sup>, 越後 歩<sup>1)</sup>, 成田 隼也<sup>1)</sup>, 仙葉 翔登<sup>1)</sup>, 大野 健太郎<sup>1)</sup>  
 1) 札幌徳州会病院 整形外科外傷センター

## 口述⑧ 地域

2026年6月27日(土) 14:30~15:30 第4会場 1312講義室  
 座長：医療法人萌佑会 訪問看護ステーション佑 長谷川 貴宏氏

- 0-08-01 **介護予防センターと連携してDC利用者様の活動範囲を広げた一例**  
 玉木 領<sup>1)</sup>  
 1) 社会福祉法人溪仁会コミュニティホーム白石 リハビリテーション部
- 0-08-02 **訪問リハにおける指定難病への支援から「生活の質」向上に繋がった一症例**  
 菊屋 俊行<sup>1)</sup>  
 1) 医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院
- 0-08-03 **脊髄損傷者の病院から在宅、社会復帰支援ロールモデルの構築とOTの関わり的重要性 - 脊髄損傷特化型訪問看護ステーションの取り組み -**  
 佐藤 航平<sup>1)</sup>  
 1) 株式会社SCI village office 指定訪問看護リハビリステーションJiU
- 0-08-04 **作業に根ざした実践2.0に基づく信念対立の克服が家庭の役割の再獲得に繋がった1例**  
 石川 昂大<sup>1)</sup>, 菊池 拓望<sup>2)</sup>, 山本 英貴<sup>3)</sup>, 堀 伸全<sup>3)</sup>, 高橋 邦彦<sup>3)</sup>  
 1) 社会医療法人母恋 老人保健施設母恋 リハビリ部門  
 2) 社会医療法人母恋 訪問看護ステーション母恋  
 3) 社会医療法人母恋 日鋼記念病院 リハビリテーションセンター

- 0-08-05 **地域認知症連携モデルの構築  
～もの忘れ外来から医療・行政・地域包括センター間の情報共有スキーム～**  
村尾 優華<sup>1)</sup>, 佐川 幸愛<sup>2)</sup>, 荒 洋輔<sup>1)</sup>, 阿部 正之<sup>1)</sup>, 嶋原 良仁<sup>3)</sup>,  
白坂 智英<sup>4)</sup>  
1) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科  
2) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 心理科  
3) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部 脳神経外科  
4) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部 リハビリテーション科

- 0-08-06 **摂食障害回復者の心理的变化過程に関する質的研究  
ー複線径路等至性アプローチを用いた事例分析ー**  
岩岡 拓人<sup>1)</sup>, 村上 正和<sup>1,2)</sup>, 八重樫 修人<sup>1)</sup>, 大鐘 悠歌<sup>1)</sup>  
1) 訪問看護ステーションいろはす  
2) 日本医療大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

## 口述⑨ 教育・他

2026年6月27日(土) 14:30～15:30 第5会場 1327講義室  
座長：北海道千歳リハビリテーション大学 佐々木 努氏

- 0-09-01 **【ビギナーズ演題】  
段階的課題設定により心理・生活動作に改善が認められた症例**  
野呂 捺寧<sup>1)</sup>, 三家 早織<sup>1)</sup>, 木ノ下 哲嗣<sup>1)</sup>  
1) 手稲溪仁会病院 リハビリテーション部
- 0-09-02 **mediVRカグラの実施により眼球運動が改善された一例**  
佐藤 良磨<sup>1)</sup>  
1) 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター
- 0-09-03 **脳出血発症後の当院運転支援フローチャートにて運転を再開した一例について**  
坂下 勇斗<sup>1)</sup>, 鈴木 謙啓<sup>1)</sup>, 野田 晏朱<sup>1)</sup>, 杉本 隆<sup>1)</sup>  
1) 医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院
- 0-09-04 **運転再開までのタスクを整理・共有したことで円滑に再開に至った一症例**  
鈴木 謙啓<sup>1)</sup>, 坂下 勇斗<sup>1)</sup>, 川幡 神楽<sup>1)</sup>, 西野 早紀<sup>1)</sup>, 杉本 隆<sup>1)</sup>  
1) 医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院
- 0-09-05 **アクセルペダルデバイスを用いた自動車運転時の速度調整能力について  
(第2報)**  
山田 恭平<sup>1)</sup>, 佐々木 努<sup>1)</sup>, 林 孝太郎<sup>2)</sup>, 土谷 圭央<sup>2)</sup>  
1) 北海道千歳リハビリテーション大学  
2) 香川大学 創造工学部

0-09-06 医療系学生に対するMindful Medical Practiceを参考にした授業実践と教育効果

長南 行浩<sup>1,2)</sup>, 三原 弘<sup>1)</sup>, 磯山 響子<sup>1)</sup>, 杉村 政樹<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学 医療人育成センター 教育開発研究部門
- 2) 札幌医科大学 医学部社会医学講座 公衆衛生学分野

口述⑩ 中枢2

2026年6月28日(日) 09:00~10:00 第1会場 大講堂  
座長：札幌柏葉会病院 鴻上 雄一氏

0-10-01 【ビギナーズ演題】  
VRリーチ課題に感覚判別を併用し起居動作時の布団場面での左肩管理が改善した一例

小島 悠里奈<sup>1)</sup>, 竹内 利貴<sup>2)</sup>, 山口 日出志<sup>3)</sup>

- 1) 社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院
- 2) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科
- 3) 社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院 脳神経外科

0-10-02 rTMS短期集中リハビリテーションを経て、麻痺側上肢使用場面の増加、地域での役割獲得に繋がった一例

竹野 直子<sup>1)</sup>, 成田 伸夫<sup>1)</sup>, 佐々木 真史<sup>1)</sup>

- 1) 苫小牧東病院 リハビリテーション部

0-10-03 生活を見据えた退院前自宅訪問を含む作業療法介入の意義  
-重度片麻痺者1名における退院後1年6か月の在宅生活の記述-

向井 翔耶<sup>1)</sup>, 片桐 一敏<sup>1)</sup>

- 1) 花川病院 作業療法科

0-10-04 利き手不全片麻痺に対し課題指向型アプローチで箸操作が獲得した症例

野田 晏朱<sup>1)</sup>, 坂下 勇斗<sup>1)</sup>, 藤田 純史<sup>1)</sup>, 杉本 隆旗<sup>1)</sup>

- 1) 医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院

0-10-05 運転再開した脳卒中者の移動手段ポートフォリオの変化~縦断調査~

小林 利行<sup>1)</sup>, 佐々木 努<sup>2)</sup>, 山田 恭平<sup>2)</sup>, 松下 祐也<sup>3)</sup>

- 1) 札幌溪仁会リハビリテーション病院
- 2) 北海道千歳リハビリテーション大学
- 3) 溪和会江別病院

0-10-06 作業療法における共同意思決定の重要性とそのプロセス

山田 ひまり<sup>1)</sup>, 殿村 涼<sup>2)</sup>, 岡田 舞咲<sup>2)</sup>, 角田 大騎<sup>1)</sup>, 佐藤 淳<sup>1)</sup>

- 1) 学校法人西野学園 札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科
- 2) 社会医療法人 交雄会メディカル 交雄会新さっぽろ病院

- O-11-01 **知覚・痛覚定量分析装置が治療選択に寄与した肘部管症候群の一例**  
大窪 悠真<sup>1)</sup>，清本 憲太<sup>2)</sup>，片山 理樹<sup>1)</sup>，石田 和宏<sup>1)</sup>，柳橋 寧<sup>3)</sup>  
1) 我汝会えにわ病院 リハビリテーション科  
2) 日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻  
3) 我汝会えにわ病院 整形外科
- O-11-02 **手根管症候群の高齢患者にパンフレットを用いた指導で自己管理意識と機能が向上した症例**  
坂本 誠<sup>1)</sup>，山本 英貴<sup>1)</sup>，高橋 邦彦<sup>2)</sup>  
1) 社会医療法人母恋日鋼記念病院 リハビリテーションセンター 作業療法科  
2) 社会医療法人母恋日鋼記念病院 リハビリテーションセンター
- O-11-03 **ADLにおける前方リーチ動作は肩峰骨頭間距離を狭める**  
矢田 翔馬<sup>1,2)</sup>，林 弘樹<sup>1,3)</sup>，池本 吉一<sup>4)</sup>，金子 翔拓<sup>2)</sup>  
1) 医療法人社団 篠路整形外科 リハビリテーション科  
2) 北海道文教大学大学院リハビリテーション科学研究科  
3) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期  
4) 医療法人社団 篠路整形外科
- O-11-04 **上腕骨外側上顆炎症例の体幹機能の検討**  
金子 翔拓<sup>1)</sup>，林 弘樹<sup>1)</sup>，矢田 翔馬<sup>1)</sup>  
1) 北海道文教大学医療保健科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
- O-11-05 **小指陳旧性PIP関節脱臼骨折術後の作業療法経験と課題**  
五嶋 渉<sup>1)</sup>，白戸 力弥<sup>2)</sup>，高橋 靖明<sup>1)</sup>，山中 佑香<sup>1)</sup>  
1) 済生会小樽病院 リハビリテーション室  
2) 北海道文教大学医療保健科学部リハビリテーション学科
- O-11-06 **右手部・前腕の複合組織損傷症例の術後作業療法**  
越後 歩<sup>1)</sup>，高橋 信行<sup>1)</sup>，井部 光滋<sup>1)</sup>，成田 隼也<sup>1)</sup>，仙葉 翔登<sup>1)</sup>  
1) 札幌徳洲会病院整形外科外傷センター

0-12-01 地域在住シニアドライバーに対する複合的運転支援プログラムの効果検証

石井 美有<sup>1,2)</sup>, 奥山 徹<sup>3)</sup>, 小林 浩<sup>4)</sup>, 渡邊 陽裕<sup>1)</sup>, 杉 正明<sup>1,2)</sup>,  
稲垣 侑士<sup>5)</sup>, 寒川 美奈<sup>5)</sup>, 小笠原 克彦<sup>6)</sup>, 澤村 大輔<sup>5,7)</sup>

- 1) 北海道大学 大学院 保健科学院
- 2) 社会医療法人 社団 カレス サッポロ カレス記念病院 リハビリテーション部
- 3) ジェイ・アール北海道バス(株)
- 4) ジェイ・アール北海道バス(株) 桑園自動車学校
- 5) 北海道大学 保健科学研究所 リハビリテーション科学分野
- 6) 北海道大学 保健科学研究所 健康科学分野
- 7) 北海道大学 脳科学研究教育センター

0-12-02 千歳市高齢ドライバーサポート事業の実績と歩みー過去4年間の経過からー

山田 恭平<sup>1)</sup>, 佐々木 努<sup>1)</sup>, 山北 武<sup>2)</sup>, 富永 壮<sup>3)</sup>, 吉田 肇<sup>4)</sup>,  
作田 直人<sup>5)</sup>

- 1) 北海道千歳リハビリテーション大学
- 2) 千歳市介護予防センター
- 3) 千歳市北区地域包括支援センター
- 4) 千歳市向陽台区地域包括支援センター
- 5) 千歳病院認知症疾患医療センター

0-12-03 地域高齢者の移動手手段ポートフォリオの変化～縦断調査～

佐々木 努<sup>1)</sup>, 山田 恭平<sup>1)</sup>, 山北 武<sup>2)</sup>

- 1) 北海道千歳リハビリテーション大学
- 2) 千歳市介護予防センター

0-12-04 【ビギナーズ演題】  
北海道における認知症高齢者への遠隔リハビリテーションの実践

飛島 希美<sup>1)</sup>, 薄島 楓弥<sup>1)</sup>, 濱野 永弥<sup>1)</sup>, 西脇 利恵<sup>2)</sup>, 吉田 嵩<sup>1)</sup>,  
大本 慎也<sup>1)</sup>, 角田 大騎<sup>1)</sup>, 窪谷 和泰<sup>1)</sup>

- 1) 札幌リハビリテーション専門学校 作業療法士科
- 2) 認知症対応型デイサービスももいろはーと

0-12-05 抑うつ症状を呈した作業適応障害がみられる患者に対し、  
クラブ活動を用いた関わりが社会参加に繋がった事例

岩谷 信宏<sup>1)</sup>, 阿部 来夢<sup>1)</sup>

- 1) イムス札幌リハビリテーション病院

0-12-06 OSA II を用いた課題指向型練習により、革細工職人としての役割を  
再獲得した一例

九島 花菜美<sup>1)</sup>, 川幡 神楽<sup>1)</sup>, 西野 早紀<sup>1)</sup>, 杉本 隆<sup>1)</sup>

- 1) 医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院

## ポスター発表

### ポスター演題① 地域・教育

2026年6月27日(土) 13:20~13:50 第7会場 4階ラウンジ

- P-01-01 **地域支援事業における作業療法士の『橋渡し機能』  
－介護予防測定・相談を通じた認知機能低下リスク層への支援－**  
山北 武<sup>1)</sup>  
1) 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会 千歳市介護予防センター
- P-01-02 **地域の認知症支援活動における作業療法士および養成校教員の役割  
－桑園認知症ケア研究会の実践から－**  
吉田 嵩<sup>1,3)</sup>, 若井 亜矢子<sup>1,3)</sup>, 窪谷 和泰<sup>1)</sup>, 橋本 茂樹<sup>2,3)</sup>  
1) 学校法人西野学園 札幌リハビリテーション専門学校  
2) 医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院  
3) 桑園認知症ケア研究会(オレンジ桑園)
- P-01-03 **本校の作業療法学生における通所・訪問臨床実習後の自己評価と  
指導者評価の乖離に関する検討**  
鈴木 渉<sup>1)</sup>, 川上 和敏<sup>1)</sup>  
1) 北都保健福祉専門学校 作業療法学科
- P-01-04 **若手が主催した若手精神科OTRのための事例交流会の実践  
参加者からのアンケートからの考察**  
水口 克信<sup>1)</sup>, 本間 悠暉<sup>2)</sup>, 武井 早紀<sup>3)</sup>, 片岡 弘美<sup>4)</sup>, 早田 咲紀<sup>5)</sup>,  
大江 成<sup>5)</sup>  
1) 江別すずらん病院  
2) 旭山病院  
3) 北海道大学病院  
4) 医療法人社団花水木 札幌こころの診療所  
5) 札幌花園病院

### ポスター演題② 発達

2026年6月27日(土) 14:00~14:30 第7会場 4階ラウンジ

- P-02-01 **学校教育領域における作業療法の役割  
－通級指導教室における教員の相談・理解・実践の変化に着目して－**  
池田 千紗<sup>1)</sup>, 中島 そのみ<sup>2)</sup>, 宮田 双葉<sup>3,4)</sup>, 仙石 泰仁<sup>2)</sup>  
1) 北海道教育大学札幌校  
2) 保健医療学部 作業療法学科 作業療法学第二講座  
3) 多機能型事業所ひまわり コパンの杜手稲前田  
4) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科

P-02-02 小児訪問看護におけるICTとWISC-Vを活用した他職種連携モデルの構築と作業療法の可能性

大鐘 悠歌<sup>1)</sup>, 岩岡 拓人<sup>1)</sup>, 八重樫 修人<sup>1)</sup>

1) 訪問看護ステーションいろはす

P-02-03 小児訪問看護における自己表出に乏しい自閉症スペクトラム障害男児に短縮版小児作業プロフィールを活用し、意志の向上と将来目標の形成がみられた事例

八重樫 修人<sup>1)</sup>, 岩岡 拓人<sup>1)</sup>, 大鐘 悠歌<sup>1)</sup>

1) 訪問看護ステーションいろはす

### ポスター演題③ 精神

2026年6月28日(日) 10:10~10:40 第7会場 4階ラウンジ

P-03-01 精神科デイケアにおいて作業療法士との段階的な定期面談を基盤に参加が拡大したうつ病の症例

水口 克信<sup>1)</sup>, 湯浅 瑠奈<sup>1)</sup>, 横山 和樹<sup>2)</sup>

1) 江別すずらん病院

2) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科

P-03-02 閉じこもり傾向にあった慢性期統合失調症事例に対する強みに焦点を当てた介入がパーソナル・リカバリーと参加に及ぼす影響

湯浅 瑠奈<sup>1)</sup>, 水口 克信<sup>1)</sup>, 森元 隆文<sup>2)</sup>

1) 医療法人 風のすずらん会 江別すずらん病院 リハビリテーション課

2) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科

P-03-03 「はたらく準備プログラム」における近況報告が価値ある作業であった発見

三浦 桃子<sup>1)</sup>

1) 札幌トロイカ病院 デイケアゆうあい

P-03-04 対人トラブルを繰り返す中等度知的障害患者に対し、グループ活動を導入し、対人スキルの獲得につながった一例

石津 美羽<sup>1)</sup>, 手塚 隆文<sup>1)</sup>, 直江 寿一郎<sup>1)</sup>

1) 医療法人社団圭泉会 旭川圭泉会病院

P-03-05 メンバーの自分らしさの発揮に着目した居場所支援の意義  
ー地域活動支援センターの実践からー

杉田 顕啓<sup>1,2)</sup>, 割ヶ谷 勲<sup>2)</sup>, 渡辺 留衣<sup>2)</sup>

1) 訪問看護ステーションnorth-ACT

2) 地域活動支援センターBASE24

- P-04-01 **当院におけるrTMS治療と集中リハビリテーションへの取り組み  
-介入例を通して-**  
吉本 萌香<sup>1)</sup>  
1) 社会医療法人 交雄会メディカル 交雄会新さっぽろ病院
- P-04-02 **上肢機能に応じた課題志向型訓練と施設外訓練の組み合わせにより、  
自ら生活を切り開いた脳幹梗塞の一例**  
岸田 留実佳<sup>1)</sup>, 荒井 英俊<sup>1,2)</sup>  
1) 医療法人ひまわり会 札幌病院  
2) 札幌医科大学 訪問研究員
- P-04-03 **家族からの賞賛により満足度が向上し余暇活動であるピアノの再開に至った  
一症例**  
秋山 盟<sup>1)</sup>, 川村 遥<sup>1)</sup>, 竹内 利貴<sup>1,2)</sup>, 山本 大稀<sup>1,3)</sup>, 増澤 綾子<sup>1)</sup>,  
三澤 志帆<sup>1)</sup>, 山崎 駿輔<sup>1)</sup>  
1) 社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院  
2) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科  
3) 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士課程後期
- P-04-04 **スマートフォン操作中における母指CM関節前斜靭帯の厚さの変化**  
林 弘樹<sup>1,2)</sup>, 矢田 翔馬<sup>1)</sup>, 金子 翔拓<sup>3)</sup>, 仙石 泰仁<sup>4)</sup>  
1) 篠路整形外科 リハビリテーション科  
2) 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 作業療法学専攻  
3) 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション科  
4) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科
- P-04-05 **手指壊死を呈した認知症患者において指切断を選択しなかった事例への  
意思決定支援と臨床倫理的検討**  
山中 佑香<sup>1)</sup>, 菊地 未紗子<sup>2)</sup>, 岩田 健太郎<sup>3)</sup>, 富樫 優樹<sup>4)</sup>, 五嶋 渉<sup>1)</sup>,  
高橋 靖明<sup>1)</sup>, 杉下 智香<sup>1)</sup>, 田中 雄大<sup>1)</sup>, 白戸 力弥<sup>1,5)</sup>  
1) 済生会小樽病院 リハビリテーション室作業療法課/手・肘センター  
2) 済生会小樽病院 精神科・腫瘍精神科・緩和ケア内科  
3) 製鉄記念室蘭病院 整形外科  
4) 済生会小樽病院 リハビリテーション室理学療法課  
5) 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

**S I G**  
**(Special Interest Group)**

## どこでも使える訪問作業療法の知識

浅野友佳子<sup>1)</sup> 宇田 薫<sup>2)</sup>

1) 訪問リハビリテーションらいらっく

2) おもと会 総括リハビリテーション部

日本訪問作業療法研究会は専門訪問作業療法士を中心に2024年に学会・研究会登録された新しい研究会です。WEBでの研修会を中心に訪問作業療法の評価と介入の方法の標準化と発展させることや訪問作業療法に従事する作業療法士を増やし、訪問作業療法の魅力を伝えるために活動しています。昨年度は「初回訪問のあり方」をテーマに1年で4回の研修会を開催しました。

作業療法士は対象者の生活をより豊かなものにするために活動を提供しています。訪問作業療法は実際の生活場面である対象者の自宅や地域で行うため、より生活に密着した作業療法らしい介入を行う事が出来ます。そのため、日本訪問作業療法研究会で提唱した「訪問作業療法10の礎」は「訪問」に限らずどの分野、どの時期においても作業療法士が生活に即した介入を行う上での「道しるべ」になると思います。自身の作業療法に迷いを感じたときに、その実践を確認できる心強い「道しるべ」になっていると考えています。また、作業療法を行う上で必要な「気づき力」とは何か? 「気づき力」を養うためにどのようにすればよいか? そして「気づき力」を実際どのような場面で利用し、「訪問作業療法10の礎」を基にどのように展開していくのか? を事例をもとに解説していきます。本企画「どこでも使える訪問作業療法の知識」では、きっとあなたが作業療法を展開していくうえでの「新たな気づき」と「明日からすぐに使える知識」に出会えると思います。

## SIG② 北海道ハンドセラピー研究会SIG

2026年6月27日(土) 16:00~17:00 第3会場 1324講義室

### 症例検討会

会長 越後 歩 (札幌徳洲会病院整形外科外傷センター)  
副会長 白戸 力弥 (北海道文教大学医療保健科学部リハビリテーション学科)  
事務局 札幌徳洲会病院整形外科外傷センター  
〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1

#### 【本研究会の紹介】

北海道ハンドセラピー研究会は、札幌およびその近郊で手外科領域のリハビリテーション（ハンドセラピー）に興味を持つ作業療法士によって2003年に発足しました。発足から20年以上の歴史を持ち、現在までに第180回の症例検討会を行い（2025年12月末時点）、道内のハンドセラピーの普及、発展に貢献してきました。

本研究会の主な活動内容は「症例検討会」、および「研修会等の開催」です。定例の症例検討会は月に1回、第2週の水曜日の19時から21時にWebで開催しており、函館や帯広、旭川などの道内各地の作業療法士が参加しています。昨年10月には施設間の作業療法士の交流を活発にするために、対面での研修会を開催し、今後も継続する予定です。

また年に1度、道内の手外科医とコラボレートして久光製薬株式会社の協賛のもとに「北海道手外科・ハンドセラピー研究会」を開催し、毎年100名程度の医師と作業療法士が参加しています。

#### 【本SIGのワークショップの紹介】

第56回北海道作業療法学会学術大会のSIGのワークショップでは、定例の症例検討会の形式で症例を提示していただき、参加者の皆様と討論する企画を予定しています。多くの皆様に本SIGのワークショップへご参加いただき、明日からの臨床に役立てる機会にさせていただきたいと考えています。

定例の症例検討会へご参加希望の方は下記までご連絡ください。

連絡先：[hokkaidohandtherapy@gmail.com](mailto:hokkaidohandtherapy@gmail.com)

## 視機能の理解を深める

### 【企画者】

藤坂 広幸（作業療法士／北海道立子ども総合医療・療育センター）

池田 陽介（視能訓練士／北海道立子ども総合医療・療育センター）

### 【企画趣旨・背景】

作業療法の臨床では、「見えにくそう」「視線が合いにくい」「手元の操作に時間がかかる」「動作中に疲れやすい」といった様子に日常的に出会う。こうした背景には、姿勢や注意、運動機能だけでなく、視機能の影響が関与している可能性がある。

一方で、視機能は専門性が高い印象を持たれやすく、「どこまで評価すればよいのか」「作業療法の視点でどのように捉えればよいのか」と迷うことも少なくない。作業療法士が日々行っている観察や評価は視機能とも深く関係しており、視機能の基本的な仕組みを理解することで、対象者の行動や作業遂行をより多面的に捉えることができると考えられる。

本ワークショップでは、視能訓練士の専門的視点を共有しながら、作業療法の臨床で活かしやすい形で視機能を整理することを目的とする。

### 【ワークショップの内容】

本企画では、日常生活動作と関連の深い視機能として「視力」「視野」「眼球運動」の3つを取り上げる。

#### 1. 視力

視力は最もよく知られた視機能の一つであり、眼球から視中枢に至る視路のどこかに障害が生じると低下する。眼は光を受容する器官であるため、生理光学の視点からの理解も重要である。光の屈折状態の違いによって近視・遠視・正視・乱視に分類され、眼鏡やコンタクトレンズにより見たい距離に合わせた視環境を整えることが可能となる。本ワークショップでは、視力の基本的な考え方を整理し、作業場面にどのような影響として現れるのかを具体例とともに解説する。

#### 2. 視野

視野とは、目を動かさずに見える範囲を指す。視野の感度は中心部が最も高く、周辺に向かうにつれて低下する。この特性は網膜細胞の分布によるものであり、日常生活動作や環境への注意の向け方に関与している。視野の基本的な仕組みとともに、視野の変化が作業遂行にどのように影響するのか、また作業療法場面での観察や評価の視点について解説する。

#### 3. 眼球運動

眼球運動は視対象を素早く捉えたり、移動する対象を追視したりするために重要な機能である。障害が生じると複視（物が二重に見える）が出現し、日常生活に大きな支障をきたすことがある。単眼の可動域と両眼の協調性を中心とした評価の視点とともに、複視への対応について解説する。

### 「変わりたい」を支援する 動機づけ面接

國田幸治<sup>1)</sup> 小竹玲子<sup>2)</sup> 曳田憲昭<sup>1)</sup> 阿部來夢<sup>3)</sup>  
湯浅瑠奈<sup>4)</sup> 大長祐太<sup>5)</sup> 明井かずみ<sup>6)</sup>

- 1) 北海道大学病院附属司法精神医療センター
- 2) 北大通こころのクリニック
- 3) IMS(イムス)グループ イムス札幌リハビリテーション病院
- 4) 江別すずらん病院
- 5) 札幌トロイカ病院
- 6) 就労移行支援Conoiro/就労支援員

#### 1. RIMEについて

RIME(リハビリテーション領域動機づけ面接勉強会)は、動機づけ面接(Motivational Interviewing: MI)の普及と実践統合を進めている学習コミュニティである。シリーズ研修や定期的な面談練習など体系的な学習機会を提供してきた。

#### 2. 動機づけ面接MI

多様性が求められる社会においては、人が抱える悩みの形も多様化しており、作業療法士が扱う行動や生活の様式はますます広がっている。MIは両価性(悩み)への理解を基盤に、人の主体的変化を支援するアプローチである。医療・福祉・教育・司法・スポーツといった様々なエビデンスを蓄積しており、作業療法概念との統合により、行動変容支援の有力な介入になることも示されている(Park et al., 2019)。リハビリ拒否や生活習慣の改善が難しい場面において、説得や指示に頼らず、MIを用いて対象者の主体的な変化を引き出すことで効果的な作業療法の実践につなげることが期待される。

#### 3. 企画趣旨

本企画ではMIの全体像の説明と「変わりたいけれど変わりたくない」という誰もが抱いている両価性という気持ちについてMIのコミュニケーションスキルを実際に使いながら理解し変化の方向へ繋げていく過程を学び、精神・身体・高齢期・発達などの様々な領域の日々の臨床に活かせることを目的とし提供する予定である。MIの国際的ネットワークであるMotivational Interviewing Network of Trainersのトレーナー研修を修了した者を含め、RIMEのファシリテーター経験者がガイドを行い、初学者が学びやすい配慮を行う。参加者がMI的態度を実践し、作業療法の価値である「協働関係の構築」「その人らしい選択を支える支援」をより効果的に遺していくための基盤形成を目指す。

-明日からの臨床を楽しもう！-

## 実際の動作”を作業遂行の言葉で表してみよう！

朝倉真未<sup>1)</sup> 荒井英俊<sup>2)</sup> 荻野圭司<sup>2)</sup> 高橋健介<sup>2)</sup>  
丹野拓史<sup>1)</sup> 平田みゆき<sup>3)</sup> 若井 亜矢子<sup>4)</sup>

1) イムス札幌内科リハビリテーション病院      2) 札幌病院  
3) 朝里中央病院      4) 札幌リハビリテーション専門学校

私たち作業療法士は、対象者の望む作業の可能化に向けて、「対象者自身でするようになること」を支援する医療専門職です。その支援のために様々な評価がありますが、書面や机上の評価ではとらえきれず、また、面接で対象者が言語化できないこともあるでしょう。その点を手助けしてくれる評価が“観察”です。みなさんも、病棟での過ごし方や施設外訓練や家屋調査の際に、リハ室での作業療法の時とは異なる「その方が自然に行う行為や動作」に、驚くことや、このことを伝えていたのかと、そこで改めて対象者を知ることでもあるのではないのでしょうか。

しかし、対象者が行う動作をみたとしても、どのようにみると良いのか知らない場合、「大変そうだな」「てきぱきできていないな」「危なっかしいな」「手伝いが必要そうだな」など、大まかなとらえ方となってしまうかもしれません。そうすると、「〇〇が軽介助で行える」「〇〇は自立できる」など具体性や個別性に乏しい目標となり、作業療法士が大切にしている“その人らしさ”が霞んでしまうかもしれません。

そこでこのSIGでは観察をする時に、どのようにみると良いか示してくれているAssessment of Motor and Process Skills (AMPS)という観察評価法について、イラストも交えわかりやすくお伝えします。そして、**実際に「課題」を行う様子をライブでみていただき、参加者皆さんで観察していただきます！**そしてグループワークも通じその観察の振り返りを行います。

この「座学+実際にAMPSの視点でとらえる経験+自分以外の作業療法士の視点を知る」という一連の過程を経験することで、“**実際の動作”を作業遂行の言葉で表せるようになる**ことでしょう。明日からの作業療法がもっともっと楽しくなるはずです！ぜひ、この機会にご参加ください。

## [精神科領域・身体障害領域における移動支援]

当課は、北海道の地域住民の自動車運転を含む地域移動支援、およびそれに関わる作業療法士やその関係者を支援することを目的に研修会を企画しております。今回は以下の内容について研修会を行います。

- ① 精神科領域の自動車運転支援について ～最新の研究や取り組み、そして課題に～  
北海道大学大学院 岡田 宏基
- ② 身体障害領域の自動車運転支援について ～支援と代替手段を含めた地域移動支援～  
苫小牧東病院 清水 達也
- ③ 当課の取り組みについて
- ④ 質疑応答

## 『職業団体として平時の取り組み～後志支部の活動について』

講師：水野 威（所属：北海道作業療法士会后志支部支部長、札幌病院）

講師：武田康弘（所属：北海道作業療法士会后志支部事業部長、済生会小樽病院）

〔内容〕 道士会ニュース9月号に「支部企画／後志支部の災害時にも役立つ健康づくり講座」が紹介されました。これは、「Be助っ人おたる」が主催し、小樽市をはじめとする地域の皆さんを対象に、災害への備えと健康づくりを組み合わせた新しい形の地域連携イベントです。この取り組みに、後志支部の事業部の先生方が協力されました。

本事業は、災害時に関連させながら「いざという時に焦らず使える知識」をテーマに、令和6年度から令和7年度にかけ、3回／年開催され、累計6回も開催されました。また、後志地域住民の方々に向け、平時から取り組める災害への備えと健康づくりを支援するもので、今回はこの活動について後志支部の先生に詳しくお話を伺います。発表内容としては、『「0→1」への事業の取り組み』、『地域においての他職種団体の巻き込みや連携』、『事業を継続的に行う工夫』などを話していただきます。

また、小樽市では毎年、総合防災訓練を小樽市総務部災害対策室の主催で実施しており、北海道作業療法士会災害対策推進課として2026年1月14日の防災訓練に参加しました。また、当日はどのような活動を行ったのか、また今後の取り組みについてなど皆様の地域でもご参考になる内容をご紹介します。

平時から積極的に地域と連携し、災害対策に取り組んでいる貴重な活動です。また、こうした取り組みが他支部にも広がっていくことを期待し、今回、後志支部の方にご発表いただきます。

### 〔プログラム〕 6月27日(土) 17:10~18:10

17:10 挨拶、プログラム、講師紹介（5分）

17:15 発表1 水野 威「災害時にも役立つの健康作り講座の概要」（25分）

17:40 発表2 武田 康弘「災害時にも役立つ健康づくり講座の活動内容と

小樽市総合防災訓練の参加」（25分）

18:05 質疑応答（5分）

18:10 アンケート記入、終了

**患者さんに断られるのには理由(わけ)がある！**  
～『今は無理…』の裏にあるサインを読み解き、明日への準備をみんなで話そう～

代 長 石井 陽史 (市立札幌病院)

副代表 伊藤 耕栄 (釧路孝仁会記念病院)

事務局 山本 英貴 (日鋼記念病院)

講 師 三家 早織

(医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院 作業療法士)

**【企画趣旨】**

内部障害やがんの増悪期、「リハビリをやりましょう！」と誘って断られた経験はありませんか？ 早期離床を急ぐ他職種からは「もっと進めて」と求められ、板挟みになって悩む場面は、多くのOTが経験する共通のジレンマです。実は、断られるのには「本人の性格」だけではなく、身体の消耗（炎症や栄養不足）といった、血液データなどに隠れた理由（わけ）がある場合が少なくありません。

この時期は無理に動かすことだけが正解ではなく、むしろ「対象者の生活背景や大切にしていること」をじっくり聴くなど、OTの専門性を活かす絶好の準備期間でもあります。

本ワークショップでは、難しい病態解釈の勉強ではなく、日頃の臨床で感じる「もどかしさ」を共有し、血液データを「患者さんの声の代わり」としてどう捉えているかなど、現場の生きた知恵を話し合いたいと思います。

本ワークショップでは、現場での「言語化しにくい苦労」を分かち合い、明日からの臨床を支え合うネットワークの構築を目的とします。

## [余暇活動の楽しさの治療戦略]

本家寿洋<sup>1)</sup> 大山千尋<sup>2)</sup> 三宮孝太<sup>3)</sup> 萩原佑香<sup>4)</sup>

1) 北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科

2) 砂川市立病院 精神作業療法科

3) 株式会社DIALOG

4) 訪問看護ステーション向日葵

北海道作業行動研究会は、毎月第3金曜日の20時からZOOMで開催しています。現在は、参加者全員が人間作業モデルの研究（事例研究を含む）を推進するために、毎回参加者に研究の進捗状況を報告する形式で行っています。事例研究から量的研究、質的研究も含み、研究構想や研究計画書、文献レビューなどの作業を報告してもらい、その報告に関してみなさんで一緒に検討する方法を進めています。人間作業モデルを勉強したい方は、日本人間作業モデル研究所で開催している人間作業モデル講習会の受講を推奨しています。進捗状況の報告は、論文のはじめにの書き方や、これから作業療法を開始する対象者に対しては、人間作業モデルのどのような評価を使用するとよいかなど研究初心者の方にも助言をしており、人間作業モデルの研究を希望する学生の参加も受け入れています。北海道作業療法学会は、ここ最近では日本作業行動学会の開催の日にと重なっていたため、道学会でのSIGは久しぶりになります。

今回のテーマは、人間作業モデルを理論的基盤とした楽しさの治療戦略を開発しましたので、以下の内容で構成しました。

1. そもそも余暇活動の楽しさとは何か
2. 余暇活動の楽しさの治療戦略とは何か 50の楽しさ治療戦略の紹介
3. 楽しさの治療戦略を使用した事例研究の紹介（4事例）  
4事例は論文掲載された事例研究を報告します。4事例の疾患は、うっ血性心不全、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、若年性アルツハイマー型認知症です。

今後は、あらゆる疾患に対して、楽しさの治療戦略を使用した治療効果の検討を進めていきますので、楽しさの治療戦略を使用して研究したい方は、ぜひお越しください。

## 「クライアントに合わせた作業活動の分析と活用」

講師：苗代幅貴史<sup>1)</sup> 石川美哉子<sup>2)</sup> 佐藤美加<sup>3)</sup>

所属：1) 釧路孝仁会リハビリテーション病院

2) 東札幌病院 3) 定山溪病院

### 【本研究会の紹介】

北海道活動分析研究会は、今年で37年目を迎えました。一昨年より対面での勉強会を再開しております。

当研究会では、片麻痺患者の運動と知覚を探索しながら実用的機能の追求を中心に行っており、具体的な生活行為で行われる知識・技術をお伝えすることを目的にしています。

明日からの臨床で実践できる知識・技術をお伝えし、参加者ととともに一緒に考えていく活動を行っています。

### 【SIGの内容】

クライアントに合わせた評価と作業活動の分析をし、その活用について動画を交えながらご紹介します。

また取り上げた作業活動について、実際に実技提示を行い、参加者と一緒に練習をしていきます。

多くの作業療法士に本SIGへご参加頂き、さらなる活動分析研究会の普及、活性化に役立てる機会にしたいと考えています。

何卒宜しくお願い致します。

### 【プログラム】

苗代幅 貴史：活動分析研究会の紹介

石川 美哉子：トランプを用いた患者の評価と治療実践の紹介、実技提示及び練習

佐藤 美加：ワイピングを用いた患者の評価と治療実践の紹介、実技提示及び練習

若手から熟練者まで役立つ

## 「MTDLPの導入・活用のコツ」相談会

MTDLP推進委員 荒井 英俊, 浅野 祐平, 阿部 純平, 小島 佳祐  
酒谷 景介, 土橋 大基, 宮田 友樹, 森田 和幸

生活行為向上マネジメント (MTDLP) とは、作業療法のプロセスを明確に示し、対象者の作業の可能化に向けて他職種と協働して取り組む際の道具の一つです。そしてこの道具は作業療法を「見える化」することで、振り返りや作業療法の周知にも役立ちます。

しかし、作業療法の臨床の現場や実習、職員指導などで日常的に使用することは少ないように思われます。その理由には、記載するシートが多い、職場で活用しているスタッフが少ない、使用の経験が乏しく指導に自信がない、他の理論や手技との併用ができるかわからないなど、様々な要因が考えられます。

そこで、今回は作業療法の臨床の現場や実習、職員指導での日常的な活用に向けて、どのような考えや取り組みを行うことが促進につながる可能性があるのか、話をさせていただきます。

さらに、学会開催日までに寄せられた「MTDLPに関する疑問や相談」だけではなく、このワークショップの時間内においても相談をお受けできたらと考えています。MTDLPに興味のある方が集まり、悩みや考えを共有することのできる機会にもなります。ぜひ、この機会にご参加のほどよろしくお願ひします。



MTDLPに関する疑問・相談のある方はこちらから



## 記憶障害のみかた ーリバーミード行動記憶検査 2023年増補版の紹介とともにー

札幌高次脳機能障害研究会

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部 加藤 正巳

北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科

橋本 竜作

演者 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

太田 久晶

### はじめに

記憶障害は、日常生活に支障をもたらす高次脳機能障害の1つであり、その症状の程度や特徴は、個々の患者で異なる。したがって、対象者の記銘力障害の特徴を把握することは、対象者の生活を支援するために必要な情報となる。今回は、臨床で利用機会の高いと考えられるリバーミード行動記憶検査 2023年増補版を取り上げ、その検査の特徴を紹介する。

### リバーミード行動記憶検査

リバーミード行動記憶検査 (The Rivermead Behavioural Memory Test, 以下RBMT) は、イギリスのBarbra Wilsonらによって1985年に開発された。それをもとに本邦では2002年、綿森らによって日本版が開発された。マニュアルの数回の改訂を経て、2023年、採点基準や実施手順を詳述した、増補版が発行となっている。RBMTは、日常生活に類似した状況で行われるとされている。また、4つの検査セット (並行検査) が用意されていることから、学習効果を排除して繰り返し実施できる。以下に、RBMTの概要を述べる。

RBMTの下位項目は、多角的なアプローチで構成されている。まず、絵カードや顔写真の再認による視覚性の課題、物語の想起を用いた言語性の課題に加え、顔写真と氏名の記銘という視覚と言語の対連合課題が含まれる。

また、一般的な机上の検査にとどまらないのが本検査の大きな特徴である。実際の動作を伴う「道順」の課題として、封筒を持ち運びながら検査室内の移動順序を覚える、より実践的な項目が設定されている。

さらに、日常生活で重要となる以下の要素も評価の対象としている。展望記憶 (特定のイベントをきっかけに事前に覚えた内容の想起)、および見当識 (時間や場所に関する認識の確認)。

なお、「物語」や「道順」の課題については、情報の定着を確認するために直後再生だけでなく、一定時間を置いた遅延再生の両面から評価を行う構成となっている。

成績の判定には、スクリーニング点と標準プロフィール点が用いられる。前者は、記銘力低下の有無を判断する指標となり、後者は、記銘力の程度を反映する指標となる。

増補版では、日常記憶チェックリストの評価用紙が追加となったことから、SIG当日は、こちらの内容についても紹介する。

# 第56回北海道作業療法学会学術大会

## 実行委員会

### <大会長>

岸上 博俊 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

### <実行委員長>

村上 正和 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

### <総務部>

木村 優斗 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

宝田 光 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

### <財務部>

村上 優衣 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

大澤茉莉恵 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

### <演題抄録部>

池田 保 (北海道リハビリテーション大学校)

和田 英峰 (北海道リハビリテーション大学校)

及川 直樹 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

### <会場進行部>

南部 浩志 (定山溪病院)

合田 央志 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

坂口 紀子 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)

## 協賛いただいた施設・団体

札幌福祉医療器株式会社  
合同会社クオリティライズ  
訪問介護リハビリステーションこかげ  
    リハビリ型デイサービスこかげ  
矢崎化工株式会社 北海道支店  
鈴木内科医院  
酒井医療株式会社  
特定非営利活動法人 北海道こども発達研究センター  
社会医療法人 北斗  
専門学校北海道リハビリテーション大学  
医療法人 風のすずらん会 江別すずらん病院  
函館市医師会看護・リハビリテーション学院  
医療法人ひまわり会札幌病院  
    多機能型事業所ひまわりコパンの杜  
社会医療法人 共栄会 札幌トロイカ病院  
学校法人西野学園 札幌リハビリテーション専門学校  
株式会社メジカルビュー社  
学校法人 日本医療大学  
社会医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院  
医療法人 社団shindo 旭川リハビリテーション病院  
札幌医学技術福祉歯科専門学校  
イワツキ株式会社  
グランメイト株式会社 神奈川営業所  
医療法人 溪仁会  
北海道千歳リハビリテーション大学  
社会医療法人 北農会 恵み野病院  
医療法人 雄心会 函館新都市病院  
社会医療法人 札幌山の上病院  
社会医療法人 医仁会 中村記念病院  
社会福祉法人 北海道社会事業協会 余市病院  
医療法人 社団恵和会  
医療法人ひまわり会札幌病院  
一般社団法人 北海道総合在宅ケア事業団  
医療法人 社団育悠会 新札幌こども発達クリニック  
社会医療法人 博愛会

(順不同・敬称略)

革新に満ちた医療への挑戦と新たな組織価値の創造

# 地域を支える力になりたい



## 私たちは北斗グループです



北斗病院



十勝リハビリテーションセンター

- |                         |       |       |                          |       |        |
|-------------------------|-------|-------|--------------------------|-------|--------|
| 北斗病院                    | ..... | (帯広市) | 認知症対応型共同生活介護グループホーム あおぞら | ..... | (帯広市)  |
| 北斗クリニック                 | ..... | (帯広市) | 上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ   | ..... | (上士幌町) |
| 十勝リハビリテーションセンター         | ..... | (帯広市) | 介護付有料老人ホーム ノーステラス 緑ヶ丘    | ..... | (帯広市)  |
| サービス付き高齢者向け住宅 あやとり      | ..... | (帯広市) | 介護付有料老人ホーム ノーステラス 札内西町   | ..... | (幕別町)  |
| 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし | ..... | (帯広市) | 介護付有料老人ホーム ノーステラス 環状東    | ..... | (札幌市)  |
| ほくと自立支援ホーム/カンタキあおぞら     | ..... | (帯広市) |                          |       |        |



社会医療法人  
Social medical corporation

# 北斗

帯広市稲田町基線7番地5 ☎0155-48-8000(代)



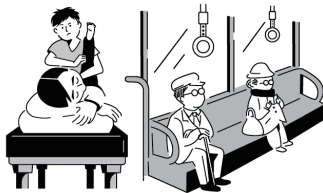
支える気持ち、育てよう。



# 函館市医師会 看護・リハビリテーション学院

学院の教育方針と特色

## 地域医療



POINT

地域医療の課題と向き合い、地元のために貢献できる理学療法士・作業療法士を育成します

## ICT教育



POINT

医療ICTの教育を取り入れ、医療情報科学の知識を持つ次世代のセラピストを育成します

## 研究機関



POINT

当学院の生体医工学研究センターは文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関となっています

湯の川キャンパス **3年制**

看護学科

〒042-0932 函館市湯川町3丁目38番45号  
■TEL 0138-36-0080 ■FAX 0138-36-0081

五稜郭キャンパス **3年制**

理学療法学科・作業療法学科

〒040-0081 函館市田家町5番16号  
■TEL 0138-43-8282 ■FAX 0138-43-8283

学院HP



< 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」認定校 / 世界作業療法士連盟 (WFOT) 認定校 >

# 札幌リハビリテーション専門学校



作業療法士科 4年制課程 / 40名

【併設学科】理学療法士科 4年制課程 / 40名

「高度専門士」取得可能！ 卒業時に大学卒「学士」と同等と認められる「高度専門士」の称号が得られます。



アクセス  
・地下鉄「西18丁目」駅  
1番または3番出口より徒歩12分  
・JR「桑園」駅より徒歩18分



< 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」認定校 >

# 札幌医学技術福祉歯科専門学校



作業療法士科 3年制課程 / 40名

理学療法士科 3年制課程 / 40名

言語聴覚士科 3年制課程 / 40名

【併設学科】臨床検査技師科 | 臨床工学技士科  
歯科衛生士科



アクセス  
・地下鉄「西11丁目」  
2番出口より徒歩7分





社会医療法人 孝仁会 理事長 齋藤孝次

## 地域を支える医療とつながる介護

私たち、孝仁会グループはすべての患者様が健康で安心して生活できるサービスを提供します。



・ 釧路孝仁会記念病院

〒085-0062 釧路市愛国191番212  
TEL : 0154-39-1222



・ 札幌孝仁会記念病院

〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号  
TEL : 011-665-0020



・ 釧路孝仁会リハビリテーション病院

〒084-0912 釧路市星が浦大通り3丁目9番13号  
TEL : 0154-54-2500



・ 札幌第一病院

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条3丁目4番26号  
TEL : 011-611-6201

### リハビリテーション関連施設

老人保健施設星が浦 留萌セントラルクリニック 釧路脳神経外科デイケアセンター  
ケアスタジオ住吉 中標津訪問リハビリセンター 釧路訪問リハビリセンター  
星が浦訪問リハビリセンター 知床らうす国民健康保険診療所（通所リハ）

スタッフ募集中 地域と、仲間とともに成長しよう  
リハビリテーション統括部長 作業療法士 伊藤耕栄

法人本部 人事部 〒085-0062 釧路市愛国191番地5718号

リハ担当：薄田 / TEL 0154-65-1275 / Mail jinji@kojinkai.or.jp



# 「ずーっと。」

## 人と社会を支える

溪仁会グループは「医療」「福祉」「在宅支援」のさまざまな角度から  
総合的なリハビリテーション・サービスを提供しています。

### 医療法人 溪仁会

#### 手稲溪仁会病院

札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 Tel.011-681-8111

救急・集中治療病棟の超急性期から365日のリハビリテーションを提供します。  
早期離床、早期ADL実施を進め、生活機能向上へ向けた作業療法プログラムを実践しています。

#### 札幌溪仁会リハビリテーション病院

札幌市中央区北10条西17丁目36-13 Tel.011-640-7012

ロボティクスリハビリテーションや、FES機器など各種デバイスを使用し、専門的なリハと良質なケアを提供するとともに、患者さんの運動機能や生活機能の回復を図り、社会復帰や社会参加を支援します。また、各種地域支援活動も行っております。

#### 札幌西円山病院

札幌市中央区円山西町4丁目7-25 Tel.011-642-4121

回復期リハビリテーション病棟、神経内科病棟で365日リハビリを実施するとともに、終末期までの全てのステージにおいてリハビリを提供します。認知症やフレイルを中心とした地域活動にも積極的に挑戦します。

#### 定山溪病院

札幌市南区定山溪温泉西3丁目71 Tel.011-598-3323

屋上に足湯のある病院です。地域包括ケア病棟、障害者病棟、医療療養病棟があり、積極的な在宅支援に努めています。  
溪仁会みなみクリニックでは、訪問リハビリテーションも実施しています。

### 社会福祉法人 溪仁会

入所者は在宅復帰を、在宅療養者は安定した在宅生活の継続を目指したリハビリテーションを、多職種協働の下、職員一丸となって提供します。地域での介護予防事業などにも力を注いでいます。

介護老人保健施設

#### コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 Tel.011-864-5321

介護老人保健施設

#### コミュニティホーム美唄

美唄市東5条南7丁目5-1 Tel.0126-66-2001

介護老人保健施設

#### コミュニティホーム八雲

北海道八雲町栄町13-1 Tel.0137-65-2000

介護老人保健施設

#### コミュニティホーム岩内

岩内郡岩内町字野東69-26 Tel.0135-62-3800

# セラピストとして 人として 成長できる場所

知識・技術はもちろん、豊かな人間力を磨くことを大切に。  
それが、私たちの目指すセラピストの第一歩です。

## 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科

4年制 定員60名  
卒業時「高度専門士」称号付与

4年制 定員40名  
卒業時「高度専門士」称号付与

3年制 定員40名  
卒業時「専門士」称号付与



厚生労働大臣指定

所在地／札幌市中央区南3条西1丁目

お問い合わせ／学校法人 吉田学園 入学相談室

### 専門学校北海道リハビリテーション大学校

☎ 0120-607033  
<https://yoshida-rehabili.jp>

## 社会医療法人 共栄会 精神科・内科・歯科 札幌トロイカ病院

〒003-0869 札幌市白石区川下577-8  
TEL 011-873-1221

作業療法士 20名  
理学療法士 2名  
音楽療法士 4名  
言語聴覚士 2名  
公認心理師 8名



WEBトロイカHP

「精神善用」「自他共栄」の精神に基づいた治療共同体を目指して  
総合的な治療とリハビリテーションを提供

医療  
精神科・内科・歯科  
札幌トロイカ病院  
精神科デイ・ケア  
ゆうあい広場  
重度認知症患者デイ・ケア  
たいよう  
MHSW相談受付  
地域連携室

介護  
介護老人保健施設  
ぼだい樹  
認知症対応型共同生活介護  
まいホーム川下  
認知症対応型共同生活介護  
まいホーム川北  
認知症対応型共同生活介護  
まいホーム川北二番館

障がい福祉  
地域生活支援センター  
援護寮三心館  
指定共同生活援助事業所  
援護寮元町館  
指定共同生活援助事業所  
援護寮米里館  
就労支援B型  
ゆうゆう

動画でバーチャル臨床体験!



現役臨床家が書き下ろした  
**完全オリジナル動画**

実習中の行動の良し悪しを学ぶ

▶ **実習対策編**

擬似患者を動画で症例検討する

▶ **ムービーペイシエント編**

年々、実習指導が  
大変になってきている

いまの学生に合った  
学習コンテンツが欲しい

リハビリテーションの  
一連の流れが  
イメージできない

そのお悩み、  
リハビューが**解決**します!

MEDICAL VIEW



← 詳しくは  
こちらから…



医療と福祉の総合大学  
～医療と福祉の未来へともに～

月寒本キャンパス

〒062-0053

札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号

TEL 011-351-6100

<https://www.jhu.ac.jp>

- 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻/理学療法学専攻
- 【併設学科】 看護学科 診療放射線学科 臨床検査学科 臨床工学科



医療と福祉の現場から誕生した  
**日本医療大学**

詳細は大学 HP から



心のぬくもりが 伝わる医療を。



社会医療法人 医仁会  
**中村記念病院**

脳神経外科 脳神経内科 内科 糖尿病・代謝内科  
循環器内科 消化器内科 小児神経内科 外科  
心臓血管外科 消化器外科 整形外科  
耳鼻いんこう科 眼科 麻酔科 放射線科  
リハビリテーション科 病理診断科  
理事長・院長 中村 博彦  
札幌市中央区南1条西14丁目  
TEL (011)231-8555 FAX (011)231-8385

地域に愛され  
信頼される医療を南の地で。



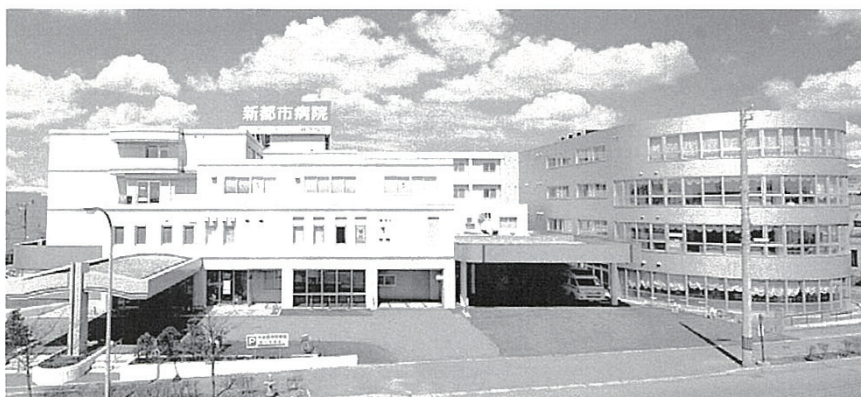
社会医療法人 医仁会  
**中村記念南病院**

脳神経外科 脳神経内科  
リハビリテーション科 循環器内科  
理事長 中村博彦 院長 岡 亨治  
札幌市南区川沿2条2丁目  
TEL (011)573-8555 FAX (011)573-8385

医療法人 雄心会  
**函館新都市病院**

良質かつ適切な医療を最良の環境で提供出来る病院をめざして

脳神経外科 脳神経内科 整形外科 循環器内科 内科 消化器内科 皮膚科  
小児科 リハビリテーション科 麻酔科(小林康夫) 放射線科 歯科



**TEL.0138-46-1321(代)** 〒041-0802 北海道函館市石川町 331 番地 1  
<http://yushinkai.jp/hakodate/>

| 外来受付時間             |                  |
|--------------------|------------------|
| 月                  | 午前 8:45 ~ 11:30  |
| 金                  | 午後 13:30 ~ 16:30 |
| 土                  | 午前 8:45 ~ 11:30  |
| 予約変更受付             |                  |
| 平日午後 13:00 ~ 17:00 |                  |
| 土                  | 午前 9:00 ~ 12:00  |



医療法人 雄心会

法人本部 北海道函館市石川町 331-1 TEL (0138)34-7655 FAX (0138)34-7665  
新都市砂原病院 北海道厚岸郡砂原町字砂原 1丁目 36-59 TEL (01374)8-3131 FAX (01374)8-3134  
江差脳神経外科クリニック 北海道檜山郡江差町中伏木町 550-1 TEL (0139)52-5500 FAX (0139)52-5566  
函館おおてまクリニック 北海道函館市大手町 1-21 TEL (0138)23-1062 FAX (0138)23-3382  
青森新都市病院 青森県青森市大字石江字高岡 109-18 TEL (017)757-8750 FAX (017)788-9901  
上ノ国町立石崎診療所 北海道檜山郡上ノ国町字石崎 243-1 TEL (0139)59-2341 FAX (0139)59-2345

# 作業療法士・理学療法士募集中！ 一緒に働きましょう！

## 【当クリニックの特徴】



### 医師と多職種との直接連携

職種を超えて、最善の療育を行います。  
(医師／看護師／PT／OT／公認心理師／言語聴覚士／保育士)  
また、医師に直接相談でき、指導を受けることができます。



### 充実の教育制度

評価・治療計画の作成・実行・セラピーまで、すべてを経験できます。  
子ども(主に幼児)に対するセラピーが初めての方でも、スーパーバイザーから丁寧な指導を受けられます。



### ワークライフバランス

充実したワークライフバランスの実現が可能です。

## 医療法人社団 育悠会 新札幌こども発達クリニック

📍 JR新札幌駅から徒歩3分

📍 地下鉄新さっぽろ駅 10番出口から徒歩1分

お電話でのお問い合わせ  
011-893-1511



## 医療法人風のすずらん会

# 江別すずらん病院

Ebetsu Suzuran Hospital

〒067-0064 江別市上江別 442-15

TEL 011-384-2100

FAX 011-384-2288

URL <https://www.kaze-suzuran.com/ebetsu/>

プラスにできる  
人になる。



これからの日本で求められる

「障がい予防リハビリテーション」を学び

医療現場だけでなく地域社会にも貢献できる

理学療法士・作業療法士を育成します



未来を拓く医療人をめざして

**北海道千歳リハビリテーション大学**  
Hokkaido Chitose College of Rehabilitation

健康科学部リハビリテーション学科  
理学療法学専攻 作業療法学専攻  
〒066-0055 千歳市里美2丁目10番  
TEL 0123-28-5331



家庭や地域に看護の輪をお届けします

- ★全道に52の訪問看護ステーションと12のケアプラン相談センターを配置して  
訪問看護と居宅介護支援サービスを提供しています
- ★約20名のOTが在籍しています
- ★ご利用のご相談はお近くの訪問看護ステーションまたはケアプラン相談センターへ



一般社団法人 北海道総合在宅ケア事業団

ホームページはこちら→<https://hgci.or.jp/>



〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目3番27号 TEL(代表) 011-281-2120

**医療法人 社団 恵和会**

宮の森病院

介護療養型老人保健施設 宮の森

老人保健施設 えん

札幌市中央区宮の森宮の森1237番地1

TEL:611-2211 FAX:644-8569

mail : [info@miyanomori-hp.or.jp](mailto:info@miyanomori-hp.or.jp)



内科・循環器科・呼吸器科・腎臓内科・消化器科・泌尿器科・整形外科  
外科・リハビリテーション科・歯科・透析センター・人間ドック

医療法人社団 shindo

# 旭川リハビリテーション病院

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条1丁目 TEL 0166-65-0101 FAX 0166-65-1211

<http://www.reha.or.jp>



メディカル。つながる。街つくる。

## 博愛会

メディカルグループ

### 開西病院

介護老人保健施設

あかや

介護老人保健施設

ヴァいかいせい



理事長 細川 吉博

帯広市西23条南2丁目16番地27  
TEL 0155-38-7200(代)



### 北海道社会事業協会 余市病院



地域の中で健康な生活を過ごす  
それが私たちの願いです

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士17名

(業務拡大に伴いリハスタッフ募集中)

- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・地域包括ケア病棟
- ・外来リハビリ
- ・訪問リハビリ
- ・地域医療介護連携事業



〒046-0003

北海道余市郡余市町黒川町19丁目1番地1

電話番号 0135-23-3126 (代表)

<https://ssl.hokushakyo.jp/yoichi-hospital/>



社会医療法人 北農会

## 恵み野病院

理事長 近藤 英輔

院長 三浦 洋輔

〒061-1395 恵庭市恵み野西2丁目3番地5

TEL 0123-36-7555

FAX 0123-33-7359

<https://www.megumino.or.jp>



### 【診療科目】

循環器内科・糖尿病内科・消化器内科・小児科  
外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科  
形成外科・心臓血管外科・耳鼻咽喉科

- 血液透析センター
- 糖尿病・生活習慣病センター
- 内視鏡センター
- 心血管治療センター

### 【受付時間】

平日 午前8:10~11:00 / 午後13:00~16:30

土曜日 午前8:10~11:00 (第1・第3)

※診療科により休診の場合がございます

休診日 日曜・祝日・第2土曜・第4土曜・第5土曜



## 医療法人社団 鈴木内科医院

札幌市清田区清田4条2丁目10-25

☎011-882-2233

### Love & Care

愛のある医療・介護、愛のある運営を通じて  
地域社会・職員の幸せづくりに貢献します

#### 【リハビリセンター】

札幌市清田区清田4条2丁目10-25

☎011-882-5608

リハビリセンターの  
活動はこちら

皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう  
ご要望、お体の状態に合わせてリハビリプログラムを  
立案して生活期リハビリテーションを提供しています



#### 【訪問リハビリテーション】

札幌市清田区清田4条2丁目10-25

☎011-882-5608

PT・OT・STが揃っており  
万全な体制でリハビリを提供しています

訪問リハビリの  
活動はこちら

#### 【おおまがり鈴木内科

#### 訪問リハビリテーション】

北広島市大曲柏葉1丁目1-21

☎011-398-5331

「人生」「生きがい」を支えます



鈴木内科医院では、作業療法士が活躍しております！

LUNA CAST

# ルナキャスト®

熱可塑性ギプス包帯

硬化後も再成形できる！  
手軽で便利な現場の味方



**イワツキ株式会社**



## リハビリ型デイサービス



利用者様の悩みに合わせた  
個別リハビリ

身体機能の維持を向上！  
ヨガ体操

買い物支援、  
入浴サービスあり！

## 訪問看護リハビリステーション

質の高い運動指導

運動指導の社内研修を  
充実させています。  
健康管理で訪問する看護  
師も運動管理や運動指導  
を提供できます！



介護保険サービスです！  
担当ケアマネージャーかこちらの番号まで  
あいの里教育大駅から徒歩5分

**TEL 080-4112-7731**

## 事業拡大につき作業療法士募集

医療法人ひまわり会札幌病院 多機能型事業所ひまわり

**コパンの杜**

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援  
小樽市銭函3丁目297番地

**コパンの杜北22**

児童発達支援・放課後等デイサービス  
札幌市北区北22条西3丁目2番2号 インペリアル22

**コパンの杜手稲前田**

児童発達支援・放課後等デイサービス  
札幌市手稲区前田5条12丁目12番30号 前田ノルテビル1階

問い合わせ先 コパンの杜 荻野  
Tel: 0134-62-5090  
Mail: copannomori@sasson-hospital.jp



詳細はHPを  
ご覧ください⇒



# 第56回 北海道作業療法学会学術大会 プログラム集

---

2026年6月19日発行

発行者 第56回北海道作業療法学会学術大会  
大会長 岸上 博俊

事務局 日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻内  
〒062-0053 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号  
実行委員長 村上 正和  
演題抄録部長 池田 保  
E-mail : haot56th@gmail.com

発行 株式会社大輝  
〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西8丁目 てるいビル  
TEL 011-726-2235 FAX 011-716-9124